

令和 2 年度 事業報告

1. 総 括

令和 2 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本会の取組は大きな影響を受けた。様々な事業を中止し、開催に当たっても人員の制限や感染予防の取組を徹底して実施した。また、生活福祉資金のコロナ特例貸付では、事務所職員全体で対応し、令和 2 年度は 2,849 件の貸付申請に対し 2,752 件、10 億 8,880 万円の貸付が決定された。

介護事業においても、国や県の支援を受けて、様々な感染予防対策を行い、安心して利用していただけるように努めた。年度当初は利用を控えられることが多かったが、徐々に利用者も戻りつつある。

地域の福祉活動では、コロナ禍においても出来る範囲で地域の活動を推進していただいた。住民の方が考えられて地域ささえあい会議から新たな生活支援の取組が行われたり、コロナ禍でのささえあい活動の仕組みが検討され、住民の方の創意工夫により生活支援の取組の中で感染予防に留意し実施された。

令和 2 年度より新たに受託した「基幹型地域包括支援センター」では、5 圏域の地域包括支援センターとの連携により、糸島市の地域包括ケアシステムの更なる構築に努めた。また、各センターへの後方支援として困難な相談への対応に同行し課題解決に向けて取組んだ。一方、要支援者等に対してのケアプラン作成業務がなくなったことで、介護保険事業の収益に影響があった。

令和 2 年 9 月に発生した台風 10 号は、最大級の警戒が必要とのことで、多くの市民が市健康福祉センターあごらをはじめ、校区コミュニティセンターや小中学校へ避難をされた。あごらに関しては、242 名が避難されたため新型コロナウイルス感染防止に配慮した対応を行った。今後の避難所運営については、市役所の危機管理課と協議を行い、安全な避難所運営が出来るように努めていく。

(1) 小地域福祉活動の推進

小地域福祉活動の推進ではコロナ禍での活動となるため、感染予防に留意して

出来る範囲で実施され、本会では活動に対する相談を受け支援を行った。

校区社協への助成金として、通常の助成金に加えて新型コロナウイルス感染対策費用として「コロナ対策助成金」を交付した。校区社協では、見守りを実施される世話役の方にマスクなどの感染予防品の購入や、集いの場で使用する非接触型体温計の購入等、有効に活用された。

活動の推進役となっている民生委員児童委員に対しては、福岡県の補助金で感染予防のための物品を購入して、配付することが出来た。会議等の開催については、定例総会や 4 月と 5 月の定例会は中止し、その後の開催については密にならないように分散し、時間短縮等工夫を行い実施した。

福祉委員についても、4 月の委嘱状交付及び全体研修会は中止とし、新任の福祉委員を対象に新任研修を開催した。

令和 2 年度は、3 年に 1 度の見守り台帳の再確認調査と新規調査の年に当たり、コロナ禍でもあったため、数回の訪問による感染リスクを避けるため封書を利用し調査を実施した。封書に関する費用や、郵送料等はコロナ対策の補助金として、糸島市から交付があった。

（2）地域力強化推進事業（総合相談支援体制）の推進

本会が目指す地域の総合相談・生活支援体制の構築へ向け、福祉まるごと相談員（CSW）は、地域における見守り活動等による支援と、専門的な相談支援機関による支援の相乗効果により「つながり続ける」ことを目的として、相談件数 81 件（解決件数 72 件/連携件数 60 件）となった。

相談者は、本人・家族が 56 件、市役所、地域包括支援センターや民生委員児童委員などの関係機関が 13 件、地域の住民などからの相談が 12 件と本人からだけではなく、様々な方からの問合せや相談が増えた。事業の周知が浸透してきていると考えられる。

令和 2 年度は、福祉まるごと出張相談会を糸島市健康福祉センター「ふれあい」と高齢者福祉施設「二丈苑」の 2 か所で隔月開催した（年間 10 回開催）。職員 2 名体制で相談窓口を設置したが、相談者は年間 6 名と少なかった。今後は、地域

で開催される催しに相談窓口を設置させていただきながら、相談会の実施と事業の周知を図りたい。

同じ相談支援事業を実施する生活困窮者自立相談事業との情報の共有を図るために、毎月開催する総括会議に主任相談員が出席し情報の共有及び意見交換を行った。

地域ケア会議や地域ささえあい会議にも参画し、生活支援体制整備事業の側面と地域力強化推進事業の側面から会議運営の支援を行った。子どもの居場所づくりを推進する取組では、「子ども未来ネットワーク」の定例会を開催して、学生と大人が一生に運営する地域の居場所「うみかえる」の開催のための協議を行った。

また、市内で子ども食堂や地域食堂、子どもの居場所づくりなどの子ども支援を行う団体で、新たに子ども支援団体連絡会議を開催して情報共有を行った。

我が事・丸ごと研究大会では、コロナ禍での地域活動について、講演会を開催して地域福祉活動に興味のある 50 名が参加された。参加者からは、コロナ禍での様々な活動を聞くことが出来て、自分の今後の活動に役立てたい等の声をいただいた。

（３）情報発信「ふくしが よかところ いとしまアプリ」の活用

スマートフォンからダウンロードして活用していただくアプリケーションソフト「ふくしが よかところ いとしまアプリ」では、ボランティア団体の事業実施の案内やイベント情報の発信、新型コロナの特例貸付情報を迅速に提供した。

一方、アプリダウンロード数が想定していたよりも少なく、チラシを作成して様々な機会で紹介したことで令和 2 年度新たに 218 名の登録があり、登録者数は 697 名となった。

今後も、情報の発信を適宜行い、多くの市民に有効に活用してもらえるように推進していきたい。

（４）地域包括ケアシステムの深化・推進

生活支援体制整備事業の推進については、各地域包括支援センターで実施される

地域ケア会議へ参加し、圏域ごとの地域課題の把握に努めた。また、住民主体の地域の課題を検討する地域ささえあい会議へ参加し、地域住民が抱える課題について把握し、その課題解決に向けた新しい取組を実施することができた。

あんしん生活サポート事業も、地域包括支援センターと協議を行い利用しやすいサービスとなるように、新たなサービスの創出を行った。サービスを提供する地域ささえあいサポーターの養成講座を新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら2回開催した。同講座は36名が受講され、新たに20名がサポーターとして登録され、地域ささえあいサポーター数は196名となった。

地域ささえあいサポーターのステップアップ講座では、コミュニケーションに関する研修会や、地区別サポーター交流会、校区別サポーター交流会を実施して情報共有や意見交換を行った。

サポート事業のコーディネーター役の地域ささえあい推進員についても、月に1回の連絡会を開催して、情報の共有や支援内容の検討などを協議し、新たなサービスメニューの協議などを行った。

毎年更新をしている「高齢者にやさしい生活サポート情報誌」の充実のため、地域ささえあいサポーターの交流会や、民生委員児童委員協議会定例会等で情報の収集を行った。また、登録してもらっている事業所に情報の更新の確認を行った。

（５）ボランティア活動・福祉教育の充実

ボランティアセンター事業では、糸島市社協ボランティア連絡協議会（31団体380人）と一体となって、ボランティア活動の充実を図った。

ボランティア福祉まつりの新たなイベントである「いとしまFun2020」の開催は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったが、実行委員会で企画した内容により令和3年度に開催を予定している。

ボランティア団体の支援として、糸島市社協ボランティア連絡協議会では、代表者会議で提案された「コロナ禍で思うようにボランティア活動ができない今だからこそ、ボランティアを元気づけたい」との思いを受け、ボランティア活動者を対象とした劇団鑑賞会が企画された。

糸島市 NPO・ボランティアセンター「こらぼ糸島」と糸島市ボランティア派遣事業事務局及び本会の 3 者で情報の共有化のため会議を開催した。

福祉教育の充実のため、今まで学校などから直接本会に依頼を受けていた福祉教育の、より充実を図るために、糸島市ボランティア派遣事業事務局と連携して「福祉教育プログラム集」の作成に向けた協議を行った。

(6) 安定した介護保険等事業の運営

安定した介護保険事業、障害福祉サービス事業の運営を維持するため、毎月開催する管理者会議で経営事業の収支状況の確認を行い、収支改善に向けた利用者確保の具体的な取組や、職員確保のための方策などについて協議を行った。

今までは、各事業所の課題分析をそれぞれの事業所で行っていたが、管理者会議の継続により一つの事業所の課題を市社協全体で共有しながら、様々な意見により安定した事業所運営が出来るようになってきている。

市社協の介護事業は、在宅の方が対象となるため、入院や入所に伴う利用者の増減が著しく生じるので、安定した運営を行うために事業所間での意見交換が有効になっている。

職員確保に関しては、処遇改善加算の活用により賃金の改善や諸手当の見直しを行い、介護職員の離職防止に努めた。

(7) 財政運営の適正化

平成 27 年度下半期から進めてきた財政健全化計画及び市社協収支改善プロジェクトチームの収支改善計画により、財政運営の適正化に努めた。

令和 2 年度の一般会計資金収支決算は、事業活動による収入 7 億 6,668 万円、事業活動による支出 7 億 5,936 万円で、事業活動資金収支差額 732 万円となり、施設整備等による支出 178 万円と全国社協の退職積立金や福祉積立金を含むその他の収支 1,050 万円を加えた当期資金収支差額は 1,604 万円となった。

収入の内訳では、会費（地域ささえあい費、賛助会費など）、寄付金の自主財源収入 497 万円（0.6%）、共同募金配分金収入 1,028 万円（1.3%）、市補助金

6,570 万円（8.6%）、受託金（利用料含む）が2億 1,693 万円（28.3%）、介護保険事業等の社会福祉事業収入（利用料を含む）4 億 5,607 万円（59.5%）、その他のコロナ補助金、県社協モデル事業助成金、ボランティア活動保険助成金、福祉金庫償還金、実習受入謝礼等収入が 1,273 万円（1.7%）であった。

支出の内訳は、人件費支出 5 億 129 万円（66.0%）、事業費支出 9,441 万円（12.5%）、事務費支出 1 億 3,609 万円（17.9%）、助成金支出 2,666 万円（3.5%）、その他、福祉金庫貸付金 90 万円（0.1%）、負担金支出 1 万円であった。

収入に関しては、前年度と比較して 3,943 万円減少し、支出では、4,722 万円減少となり、当期資金収支差額は、前年度のマイナス 149 万円から、今年度はプラス 1,605 万円まで改善することができた。

減収の要因として、コロナ禍による利用者の減少に伴う介護保険事業収入の減少や、基幹型地域包括支援センターの受託により介護予防ケアマネジメント収入がなくなったこと。また、一方で福岡県からのコロナ感染拡大防止のための補助金やコロナ特例貸付事業の推進に伴い福岡県社協から事務費の増額があった。

支出に関しては、介護保険事業の利用者の減少により、パート職員の人件費支出の減少や、コロナ禍による指定管理施設の閉館や福祉バスの運行中止など業務委託費の減少、賞与の削減をはじめ人件費に係る経費の抑制や事務費の見直しを図ったことなどが要因として考えられる。

（８）生活困窮者支援・権利擁護の充実

生活困窮者に関する支援事業として、生活困窮者自立相談支援事業の受託も2年目となり、相談件数も増加してきた。特にコロナ禍での相談が多く、生活福祉資金との連携により、新規相談者数やプラン作成に関しても増加している。プラン作成に関しては、家計改善支援事業及び就労準備支援事業との連携を強化し支援に努めた。また、自立相談支援事業と丸ごと相談事業の情報共有会議を行い、連携して支援の取組を実施した。

また、コロナ禍により生活に困窮される個人や世帯が増加したため、一時的に食

料が無い相談者が増え、フードバンク糸島Happiness と連携をして延 109 名の個人や世帯へ食料を提供することが出来た。

子育て家庭の支援としては、新たな住民の取組として「糸島しましまプロジェクト」が弁当の配布事業「とりあえず食べんしゃい」によって、コロナ禍で子育て中の家庭を支援され、本会では弁当注文の受付や配付に対応した。

ふくおかライフレスキュー事業では、糸島市内の社会福祉法人の事業所と連携して連絡会を開催し、情報の共有を行った。また、相談を受けて生活保護へ繋いだ方や、制度では対応できない方への支援を実施した。コロナ禍の影響により会社を解雇され特例貸付は受けたが、それでも生活が成り立たない方の相談もあった。

権利擁護の充実では、市民後見人養成講座のフォローアップ講座を開催し、その修了者に対して日常生活自立支援事業の市民支援員として登録してもらい、令和 3 年度より、市民支援員として活動できるようになった。

また、糸島市における市民後見の推進に関し、糸島市が設置する市民後見推進検討委員会において協議を進め市民後見人の活動の場とし、今後市社協が法人として後見事務の受任が出来るよう調整を図る。

2. 法人関係

(1) 理事会・評議員会の開催 理事会3回 評議員会3回 監査1回

【理 事 会】(定数10人)

開催月日	出席	議案事項
第1回理事会 (令和2.6.9)	8人 監事2人	1 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和元年度事業報告について 2 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和元年度決算及び監査報告について 3 糸島市社会福祉協議会理事候補者の推薦について 4 糸島市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 5 定時評議員会日時・場所及び議題等について
第2回理事会 (令和2.12.17)	10人 監事1人	6 令和2年度第1次補正予算について 7 令和2年度第2回評議員会の日時・場所及び議題等について
第3回理事会 (令和3.3.18)	10人 監事2人	8 令和2年度第2次補正予算について 9 糸島市多機関の協働による包括的支援体制構築事業の受託について 10 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款の変更について 11 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会就業規則の一部改正について 12 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会総合職員の給与に関する規程の一部改正について 13 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会総合一般職職員の給与に関する規程の一部改正について 14 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会総合パートタイム職員規程の一部改正について 15 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会総合一般職再雇用職員の管理職登用に関する特例規程の について 16 任期満了に伴う苦情解決第三者委員の選任について 17 令和3年度事業計画について 18 令和3年度資金収支予算について 19 令和2年度第3回評議員会の日時・場所及び議題等について

【監 査】(定数2人)

開催月日	出席	議案事項
令和2.6.2	2人	決算監査 令和元年度事業及び会計状況の監査

【評議員会】(定数21人)

開催月日	出席	議案事項
第1回評議員会 (定時評議員会) (書面表決)	21人	1 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和元年度事業報告について 2 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和元年度決算及び監査報告について 3 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会理事候補者の選任について
第2回評議員会 (令和3.1.14)	15人	4 令和2年度第1次補正予算について
第3回評議員会 (令和3.3.26)	20人	5 糸島市多機関の協働による包括的支援体制構築事業の受託について 6 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款の変更について 7 令和2年度第2次補正予算について 8 令和3年度事業計画について 9 令和3年度資金収支予算について

(2) 会費

◆行政区を通して協力いただく一般会費（ささえあい費）と行政区長会や民生委員児童委員協議会、市役所職員、市社協役職員などに協力いただく賛助会費、団体等からの特別会費の協力をいただいているが、自主財源確保のために新たに「社会福祉法人への寄付金の税額控除制度」の対象法人として、糸島市からの証明を受けた。

・会費収入 3,130,770円（参考：令和元年度3,224,688円）

①一般（地域ささえあい費）23,737口 2,373,770円 ②賛助会費 727口 727,000円

③特別会費 6口 30,000円

（一般 100円 賛助 1,000円 特別 5,000円）

区 分	金 額		
	参考(令和元年度)	参考(30年度)	参考(29年度)
一般（ささえあい費）	2,358,688円	2,346,170円	2,311,785円
賛助会費	756,000円	747,000円	748,000円
特別会費	110,000円	100,000円	100,000円

(3) 寄付金

◆寄付金については、減少により厳しい状況が続いている。寄付金増収のために、会費同様に税額控除の法人として、糸島市からの証明を受けた。

・寄付金収入 90件：1,841,631円

【内訳】

香典返し 58件：1,215,000円

初盆返し 2件： 70,000円

一般寄付 30件： 556,631円

区 分	参考(令和元年度)		参考(30年度)		参考(29年度)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
香典返し	76件	2,080,000円	79件	1,953,000円	98件	2,520,000円
初盆返し	1件	10,000円	3件	100,000円	3件	70,000円
一般寄付	16件	571,103円	16件	882,810円	23件	566,290円

(4) 会議及び社協職員研修

・課長会議 6回開催 ・衛生委員会 10回開催

・人権学習 (コロナ禍により中止)

・糸島市人権・同和研究大会 (コロナ禍により中止)

・災害ボランティアセンター設置運営訓練 (コロナ禍により中止)

・災害ボランティア連絡会 (コロナ禍により中止)

3. 住民参加による小地域福祉活動事業

(1) 校区社会福祉協議会の活動助成と連携

校区名	主な事業内容
波多江	理事会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、広報委員会、福祉だより「福祉の窓」発行（年3回）、ふれあい事業（マスク・お茶・餅・弁当など配布による見守り年5回）
東 風	理事会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、福祉だより「福祉の羽衣」発行、ふれあい弁当配布（年1回）、ふれあい餅配付（年1回）、単身高齢者世帯訪問、75歳以上高齢者世帯訪問、ひとり暮らしふれあいの集い（中止のためお菓子・除菌シート配布）
前 原	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、広報委員会、役員会（年3回）、福祉だより発行（年3回）、校区社協研修会、前原ふれ愛の会（中止のため弁当配布）、すまいる広場（子育て支援 年8回）、民生委員・福祉委員合同会議（年2回）、ひとり暮らし高齢者見守り事業（ごみ袋・誕生日のお菓子等訪問配付等 年4回）、子育て支援「ささえあい箱」配付（年2回）
前原南	役員会（年5回）、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、福祉だより「南天」発行（年4回）、一人暮らし高齢者定期巡回（年6回）と定期訪問（年2回）
南 風	理事会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、社協だより発行（年2回）、高齢者訪問（75歳以上対象）、ふれあい訪問（75歳以上一人暮らし対象・年2回）、歳末見守り訪問（70歳以上一人暮らし対象）、新生児赤ちゃん訪問、with Corona スペシャルプロジェクト、粗大ゴミ出しお助け隊
加布里	理事会（書面）、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、校区民児協会議（書面）、民生委員・福祉委員合同会議（書面）、福祉だより「道しるべ」発行（年4回）、ふれあい訪問高齢者見守り活動（年4回）、 校区役員・部会長会議、小地域ネットワーク交流会、福祉団体の活動支援
長 糸	理事会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、校区社協だより発行（年3回）、長期療養中高齢者訪問、一人暮らし高齢者訪問、85歳以上訪問、移動スーパー「いと丸くん」、団体助成、安心ネット長糸、 いこいの家に来てみませんか（年7回）、理事・福祉委員・福祉協力員研修会、自主運行バス、長糸みらいカフェ、救急救命法講習会
雷 山	理事会（中止）、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、民生委員・福祉委員合同会議、福祉だより発行（年2回）、にじの会愛のふれあい配付活動（年3回）、介護予防講習会、広報委員会、五者会議 ふれあい訪問活動月間（一人暮らし・二人暮らし高齢者・心配家庭等訪問）
怡 土	理事会（中止）、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、役員会、 民生委員・福祉委員交流会、いきいきサロン代表者会、社協だより発行（年2回）、やよい活動（高齢者訪問 年3回）、いとキッズ（年3回）、団体助成

校区名	主な事業内容
一貴山	理事会、会計監査、総会（書面）、4役会議、地域ささえあい会議、福祉だより発行（年3回）、ふれあい弁当配布（年3回）、見守り事業（年3回）
深 江	役員会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、一人暮らし高齢者見守り活動（年4回）、広報発行「ほっとタイム深江」（年3回）、福祉委員・民生委員交流会
福 吉	理事会、会計監査、総会（書面）、役員会、地域ささえあい会議、社協だより発行（年2回）、ふれあい愛弁当配付（年3回）、健康講座、校区グラウンドゴルフ大会、ふれあいコンサート
可 也	理事会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、広報誌発行（年3回）、一人暮らし高齢者見守り活動、物品等配付（年2回）、福祉委員交流会、民協・福祉委員交流会、川辺の里の集い一人暮らし物品配布、可也小あいさつ標語依頼
引 津	会計監査、総会、地域ささえあい会議、広報発行（年3回）、一人暮らし高齢者見守り訪問（年3回）、チャイルド広場（子育て支援）、おたのしみ会（一人暮らし高齢者のつどい）、一人暮らし高齢者暑中見舞はがき送付、ゴキブリ団子づくり及び一人暮らし高齢者への配布（引津小との連携事業）
桜 野	理事会、会計監査、総会（書面）、役員会、地域ささえあい会議、広報誌「愛・さくらの」発行（年4回）、一人暮らし高齢者見守り活動（年3回）、愛のしあわせ配布事業

（２）校区社会福祉協議会会長・事務局長会議の開催

会長・事務局長会議 ２回開催（７／２１、３／１２）

事務局長会議 （コロナ禍により中止）

（３）小地域ネットワーク福祉会の活動支援と連携

◆コロナ禍で活動が制限されたが、出来る範囲で活動をされた。

- ①松隈福祉会 ②初福祉会 ③富士見ヶ丘福祉会 ④師吉団地福祉会
 ⑤大浦台福祉会 ⑥大石福祉会 ⑦稲葉福祉会 ⑧師吉福祉会 ⑨桜井東福祉会
 ⑩大町福祉会 ⑪御床福祉会 ⑫東貝塚福祉会 ⑬西貝塚福祉会 ⑭香月福祉会
 ⑮芥屋福祉会 ⑯神在三区福祉会 ⑰東蔵持福祉会 ⑱老松町福祉会
 ⑲池田南福祉会

（４）小地域ネットワーク福祉会代表者会議の開催

◆福祉会の活動や助成金支出のあり方について、検討した結果、計画書・報告書の様式について簡素化することになった。

（コロナ禍により中止）

（５）見守り台帳の整備と支援態勢づくり

◆見守り台帳の取組では、平常時における要援護者への見守り及び集中豪雨や地震などの自然災害発生時の見守り支援態勢づくりの構築を推進。

既に登録をされていた 6,887 人を対象とした 3 年に 1 度の再確認調査と新規対象者 1,280 人を対象に校区社協に依頼し調査を行った結果、再確認調査で 6,107 人と、新規調査で 779 人の合計 6,886 人の登録となった。

校区別対象者集計（令和 3 年 3 月末現在）

	独居高齢者	高齢者のみ	同居高齢者	障がい者	その他	計
波多江	194人	234人	72人	56人	0人	556人
東風	118人	176人	64人	23人	0人	381人
前原	216人	334人	113人	71人	0人	734人
前原南	166人	153人	63人	38人	1人	421人
南風	53人	195人	41人	31人	2人	322人
加布里	182人	345人	104人	47人	0人	678人
長糸	47人	121人	33人	15人	0人	216人
雷山	69人	146人	39人	20人	0人	274人
怡土	156人	488人	132人	46人	1人	823人
一貴山	99人	178人	81人	21人	1人	380人
深江	168人	283人	127人	37人	1人	616人
福吉	96人	224人	86人	23人	0人	429人
可也	140人	188人	99人	43人	3人	473人
桜野	41人	40人	52人	22人	1人	156人
引津	107人	121人	161人	37人	1人	427人
計	1,852人	3,226人	1,267人	530人	11人	6,886人

（６）福祉委員への支援

◆民生委員児童委員と連携し、地域福祉の推進役として各行政区に福祉委員を設置。
163行政区 177人に委嘱した（設置率 100%）

① 福祉委員全員研修

日時：令和 2 年 4 月 10 日（金）（コロナ禍により中止）

② 福祉委員代表者会（4/10）（コロナ禍により中止）

③ 福祉委員新任研修

日時：令和 2 年 8 月 27 日（木）

内容：福祉委員活動及びボランティア活動保険について

参加者：35 人（新任者 57 人中）

(7) 糸島市民生委員児童委員へ支援

① 役員並びに定例会の開催

役員会 年 5回 偶数月第1金曜日 (4月はコロナ禍により中止)
前原地区 年10回 毎月 第3週の水曜日 (前原地区役員会年4回)
二丈地区 年10回 毎月 第3週木曜日
志摩地区 年10回 毎月 第3週水曜日

※各地区定例会は、4月・5月はコロナ禍により中止

②各地区研修会の開催

◎前原地区

(コロナ禍により開催なし)

◎二丈地区

月日	参加人数	講師	研修内容
7/16	33人	市社協 経営管理課	見守り台帳について
8/20	31人	市社協 地域課	糸島市あんしん生活サポート事業について
9/19	32人	市役所 福祉支援課	世帯台帳について
10/15	31人	認知症キャラバン・メイト	認知症サポーターについて

◎志摩地区

(コロナ禍により開催なし)

(8) 社協出前講座(糸島市出前講座)への職員派遣

◆市役所の生涯学習情報誌に掲載している出前講座

(コロナ禍により依頼無し)

内容

No.1 地域福祉ってなあに? No.2 地域の福祉力を高める住民講座

No.3 ご存知ですか?あなたのまちの民生委員・児童委員

No.4 家庭介護教室 No.5 福祉教育 No.6 社会貢献教育「寄付の教室」

No.7 社会貢献教育「寄付の教室～応用～」 No.8 その他

4. ボランティアセンター事業

◆ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど個別の活動支援を行うとともに、ボランティア講座の企画運営については、糸島市社会福祉協議会ボランティア連絡協議会と共催で行った。

No.	項 目	内 容
1	ボランティア活動支援	ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど活動支援 ①令和2年度 ボランティアセンター登録者数 2,718人 内訳 1 ボランティアセンター個人登録者 20人 2 社協ボランティア連絡協議会 31 団体 380人 3 その他団体・個人 61 団体・個人 2,318人 (※ボランティア活動保険の実績数換算による) ②ボランティア活動に関する対応件数 15 件 内訳 ボランティア依頼者数 3 件、活動希望者数 12 件 ③新型コロナウイルス感染拡大に起因する社会変化に対応して市民活動に関する相談や問い合わせやコーディネートが多数あった 内訳 1 食べんしゃいの支援者探しや活動支援 2 留学生への食料等提供支援 3 医療・福祉現場職員への支援の申し出 4 マスク不足に対する提供活動の支援 5 家計収入減による困窮者に対する食料提供支援
2	ボランティア活動保険の助成	①令和2年度保険全額助成 33 団体・個人 627人 内訳 ボランティア連絡協議会 31 団体、ボランティアセンター個人登録者、福祉委員会、糸島青年会議所
3	ボランティア団体への助成	①運営助成(上限3万円) 27 団体 790,000 円 ◆地域福祉の推進のためのボランティア団体運営経費を助成 ②備品助成(上限5万円) 2 団体 85,000 円 ◆団体の活動に必要な備品や消耗品を上限5万円まで助成 対象団体：回想法ボランティア つんのーて、はつらつまイスターズ ③事業助成(上限5万円) 1 団体 50,000 円 ◆研修会・講演会等市民向けの事業の開催費、または調査・研究事業の実費を上限5万円まで助成 対象団体：糸島しましまプロジェクト

糸島市社協ボランティア連絡協議会事業

No.	項 目	開 催 日	内 容	参加人数
1	ボラ連役員会	第1回役員会 期日：7月1日(水) 場所：あごら	①ボラ連代表者会議について ②令和2年度の事業計画について ③表彰の推薦について ④今後のボラ連について	7人
		第2回役員会 期日：3月3日(水) 場所：あごら	①令和2年度事業について ②新規団体加盟審査 ③令和3年度事業計画について	7人

2	ボラ連代表者会	社協ボラ連代表者会 期日：8月29日（土） 場所：あごら	①令和元年度事業報告について ②令和2年度事業計画について ③地域福祉活動計画ボランティア 関連項目について ④ボランティア活動中の新型コロナ 感染症の補償について ⑤表彰について ⑥学び×遊び×交流フェスイとし まFunについて ⑦いとぶりの活用について ⑧部会別会議（役員選出、講座開催、 交流会について）	25人
3	ボラ連会員研修	ボラ連 全体研修 期日：3月10日（水） 場所：あごら	ふくおか“きずな”フェスティバル 上映会	22人
4	いとしまFun 2020	テーマ：「防災×学生」 期日：8月2日（日） 場所：あごら （コロナ禍により中止）	遊び×学び×交流フェスとして、地 域住民やボランティアなど様々な 人たちで「地域共生社会」の実現を 目指し、糸島市のボランティア・福 祉活動を知ってもらうことを目的 に開催	

糸島市社協ボランティアセンター事業

No.	項 目	開 催 日	内 容	人数
1	市民向け講座	ボランティア応援企画「劇団 AFRICA ス ペシャルステージ」 期日：12月20日（日） 場所：ふれあい	劇団 AFRICA がエネルギッシュな演奏、 ダンスでボランティアを応援するステ ージを開催 新型コロナウイルスの影響を受けて活動 が難しくなっていたり、出来なくなっ ているボランティアを元気づけた	51人
		災害ボランティアセンター設置運営訓練 （コロナ禍により中止）	実際に災害ボラセンが立ち上がった際 の受付手順や全体の流れを確認	
		セラピューティックケアボランティア養 成講座 期日：10月18日（土）、3月27日（土） 場所：あごら	サロンや認知症カフェから依頼の多い、 セラピューティックケアのボランティ ア活動を行うことの出来る人材を育成 した	20人
2	ボランティア フォローアップ	セラピューティックケアボランティアフ ォローアップ講座 期日：3月27日（土） 場所：あごら	現在活動中のセラピューティックケア ボランティア 3 団体の会員に向けた研 修	14人
4	福祉教育	ふくし体験スクール 期日：8月1日（水）8月2日（木） （コロナ禍により中止）	小学5、6年生を対象に福祉の心を育む ために開催 内容／手話学習会、寄付の教室、防災セ ンター見学、居場所ワークショップ	
		可也小学校 7月2日（木） 深江小学校 9月23日（水） 30日（水） 前原南小学校 10月13日（火） 16日（金） 折尾信愛高校 10月24日（土）	障がい、福祉、地域共生社会について 視覚障がい者の講話 車いす利用者の講話 手話と視覚障がい講話、アイマスク・車 いす体験 同上 寄付の教室	

5. 高齢者福祉事業

(1) 家族会（在宅介護者の会）活動支援

◆在宅で介護をされている方とその家族等が集い、情報交換や悩みを語るにより心理的、身体的なストレスの軽減を図ることを目的に組織化。各地区の家族会で学習会や意見交換会を実施、バスハイク行事はコロナ禍により中止。3地区合同交流会や合同研修会もコロナ禍により中止。

・「癒しの会」（前原地区） 活動日／2ヵ月に1回 場所／あごら

・「楽笑」（二丈地区） 活動日／3ヵ月に1回 場所／二丈苑

（コロナ禍により中止）

・「あすなろの会」（志摩地区） 活動日／毎月第3木曜日に開催 場所／ふれあい

(2) 糸島市シニアクラブ連合会への活動支援及び助成

◆グラントゴルフ・ペタンク大会

（コロナ禍により中止）

6. 障がい児（者）福祉事業

(1) “きょうだいのつどい” 障がい児（者）ふれあい交流事業

（コロナ禍により中止）

(2) 共同作業所への活動助成（歳末たすけあい募金）

NPO法人いとしま工芸、NPO法人みらい

(3) 身体障害者福祉協会への活動支援及び助成

(4) 糸島市臨床動作法研究会親の会（レインボーサークル）への活動助成

(5) 糸島市精神障害者家族会“いとしま会”への活動支援及び助成

(6) 手をつなぐ親の会への活動支援及び助成

(7) 糸島市聴覚障害者協会への活動支援及び助成

7. 児童・青少年・ひとり親家庭の福祉事業

(1) 福祉教育教材「ともに生きる」配布

◆配布対象 市内15小学校の小学3年生へ978冊配布

(2) 児童公園への遊具設置事業（既設置撤去修繕、遊具保険のみ）

実績なし

(3) ひとり親家庭の親子バスハイクの開催

日 時 令和2年7月12日（日）

場 所 ノボルト（国内最大級屋内アスレチック）

（福岡県福岡市西区小戸2丁目10番76号 マリノアシティ福岡内）

（コロナ禍により中止）

(4) 母子等寡婦福祉会への活動支援及び助成

(5) 共助社会づくり推進のための市町村社協モデル指定事業

①子ども未来ネットワーク定例会

◆福岡県社協のモデル指定事業に取り組むボランティアネットワークの「子ども未来ネットワーク」メンバーと市社協との会議

参加者／子ども若者支援に関心がある方（子ども食堂、フリースクール、プレーパーク、不動産事業所、障がい者福祉施設、市役所など多種多様なメンバー）

開催日	内容	人数
7月10日（金）	子ども支援活動の情報交換会 （Zoom オンライン会議）	5人
8月21日（金）	備品の購入について	10人
11月27日（金）	モデル事業進捗確認 県社協職員視察	13人
12月22日（火）	各団体の取組について	8人
1月21日（木）	子どもの支援活動の情報交換会 1月30日の交流会について （Zoom オンライン会議）	4人
1月30日（土）	交流会 糸島の子ども支援活動について話そう！はじめよう	23人
2月25日（木）	子ども支援活動の情報交換会 モデル事業の進捗について 3月の地域の居場所「うみかえる」開催について	7人
3月26日（金）	モデル事業のまとめ 次年度計画について	10人

②学生ワークショップ

◆子どもたちが「地域で安心して過ごせる場」を高校生の目線から考え、大人と高校生、子どもが対等に関わりをもち、一緒に計画することを重要視したワークショップを開催。

参加者：糸島農業高校農業クラブ、糸島高校生徒会、市社協登録の高校生 25 人

開催日：6 月 22 日（月）

内 容：糸島農業高校で地域の居場所についての企画打合せ、うみかえるの実施について検討

③地域の居場所「うみかえる」開催

◆「昔懐かしい古民家で誰でも来られるほっとできる場所」のイメージで開催
学生と地域の大人と一緒に運営し、大人は基本的に見守り、高校生や参加した子どもたちの自主性に任せた運営。

場 所／コミュニティスタジオ「うみかえる」二丈深江

参加者／子ども未来ネットワーク会員、学生ワークショップメンバー（糸島高校、糸島農業高校他、一般参加）

開催日／ 7 月 26 日（日）10 時から 15 時

9 月 27 日（日）10 時から 15 時

10 月 18 日（日）10 時から 15 時

11 月 22 日（日）10 時から 15 時

12 月 20 日（日）10 時から 15 時

3 月 21 日（日）10 時から 15 時

④子どものための大人の学び場講座

◆子どもや地域の居場所に対する地域住民への理解と、啓発及び子どもに関心がある仲間づくりを目的に開催

「子どもの声と権利」

日 時／10 月 3 日（日）10 時～12 時

講 師／栄留 里美氏（大分大学福祉健康科学助教）

場 所／市健康福祉センターあごら 視聴覚室

Zoom にてオンライン同時開催

8. 総合的な福祉事業

(1) 広報誌市社協だより「みんなのふくし」の発行（全戸配布）

◆令和2年度より年間4回の発行。

62号～65号の発行（4月、7月、10月、2月）

(2) 共同募金運動の推進（目標額 1,680万円）

◆福岡県の目標額は、昨年実績の直近額に設定され、コロナ禍における募金活動となり達成率は91.6%で昨年度の実績を下回った。（参考：昨年度達成率 101.4%）

赤い羽根共同募金総実績額 15,388,687円

【内訳】（参考：令和元年度 16,735,112円）

区 分 内 容	金 額
戸別募金（行政区ごとに協力依頼）	12,208,207 円
職域募金（バッジ・タイピン募金）	668,813 円
大口募金（市内の法人企業・個人店に協力依頼）	1,276,000 円
その他（自動販売機、個人、街頭募金・募金箱、利息など）	1,235,667 円

(3) 糸島市社会福祉大会

日時 令和2年10月17日（土）

（コロナ禍により中止）

9. 相談支援（援護活動）事業

(1) 法律・心配ごと相談

◆法律・心配ごと相談所の開設（あごら）毎週火曜日、延べ37回実施／相談件数225件
相談員（延べ） 弁護士37人 民生児童委員37人（各校区民児協から選出）

（コロナ禍により4月と5月は中止）

相談内容（225件）

（参考：令和元年度 187件）

生計	4	年金	4	職業・正業	2	住宅	21	家族	6	結婚	1
離婚	18	健康衛生	0	医療	1	精神衛生	1	金銭・法律	35	財産	73
事故	7	児童・母子	1	教育青少年	1	心身障害者	1	母子・父子	2	老人福祉	0
苦情	11	その他	36								

処理内容（225件）

解決	143	再来相談	12	他機関を紹介	38	その他	32
----	-----	------	----	--------	----	-----	----

(2) 生活福祉資金等相談件数 (生活福祉資金及び福祉金庫)

◆経済的な困窮等により、多様な生活課題を抱える人への総合的な支援を行う生活困窮者自立支援制度が施行され、貸付事業は連携施策として運営、活用されることになった。

令和2年度は、コロナ特例貸付として緊急小口資金及び総合支援資金が年間を通して相談があった。

①相談件数の推移(初回相談の件数)

30年度 212件
令和元年度 226件
令和2年度 143件(既存の貸付)、2,849件(コロナ特例貸付)

②生活福祉資金の貸付決定状況

福祉資金	福祉費	3件	3,889千円
	緊急小口資金	18件	1,230千円
教育支援資金	教育支援費	26件	17,914千円
	就学支度費	21件	8,067千円
	計	68件	31,700千円
	(参考:令和元年度	80件	23,018千円)

③コロナ特例貸付(令和2年4月1日から令和3年3月31日受付分)

新型コロナウイルスの影響を受けて、休業や失業及び収入の減少に伴い生活が困窮となった世帯への貸付(通常緊急小口資金及び総合支援資金の貸付要件緩和)

緊急小口資金	1,185件	232,170千円
総合支援資金	932件	515,220千円
総合支援資金(延長)	441件	236,050千円
総合支援資金(再貸付)	194件	105,360千円
計	2,752件	1,088,800千円

④福祉金庫の貸付件数

明日の食費もなく生命に関わるほど窮迫している、生活費を得るための交通費や燃料代の活動費が捻出できない等、緊急を要する貸付が増加傾向にある。

54件 899,000円 (参考:令和元年度 50件 758,100円)

（３）日常生活自立支援（権利擁護）事業

- ◆認知症や知的障がいの方などで判断能力が低下した方を対象に、福祉サービス援助や日常的な金銭管理を実施。利用者は生活困窮世帯などの困難事例も多く、地域包括支援センターや市役所福祉支援課、福祉保護課と連携した対応に努めている。

相談件数５４件

（認知症高齢者等相談４６件、知的障がい者等相談３件、精神障がい者等相談５件）

契約内訳

①福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス（糸島市社協事業）

利用件数２７件 内訳／高齢者１７件・障がい者１０件（知的・精神）

（継続２３件・新規契約４件・廃止５件）

②書類預かりサービス事業（糸島市社協事業）

利用件数１３件 内訳／高齢者６件・障がい者７件（知的・精神）

③安心あずかりサービス事業（独自事業）

利用件数７件 内訳／高齢者３件・障がい者４件（知的・精神）

（継続７件・新規０件・廃止０件）

10. 受託事業

(1) 市健康福祉センター「あごら」「ふれあい」、高齢者福祉施設「二丈苑」の管理・運営（指定管理者）

◆新型コロナウイルス感染拡大防止のために、臨時休館や開館時間の短縮等を実施してために、利用者数が大きく減少した。

（4月及び5月はコロナ禍により閉館）

糸島市健康福祉センター「あごら」利用者数 延べ39,215人（令和元年度 96,036人）

月 会場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	0	0	35	336	51	390	390	465	496	322	350	412	3,247
トレーニング団体	0	0	14	166	203	150	126	189	154	168	187	245	1,602
トレーニング個人	0	0	283	608	534	514	675	602	478	428	491	632	5,245
調理実習室	0	0	36	46	149	60	120	143	92	46	58	174	924
栄養指導室	0	0	168	220	277	242	221	275	293	215	241	199	2,351
研修室1	0	0	144	152	319	193	192	213	153	79	103	201	1,749
研修室2	0	0	160	270	142	185	247	241	237	169	116	324	2,091
教養娯楽室1	0	0	188	244	190	193	329	238	215	108	93	148	1,946
教養娯楽室2	0	0	109	119	98	73	133	121	134	98	142	215	1,242
ふれあい交流室1	0	0	197	202	327	175	249	328	334	121	115	350	2,398
ふれあい交流室2	0	0	82	299	118	147	215	287	248	60	50	228	1,734
ゲートボール場1	0	0	140	0	0	0	0	200	90	0	0	0	430
ゲートボール場2	0	0	140	0	0	0	0	200	0	0	0	0	340
軽グラウンド	0	0	1,175	1,010	1,065	1,124	1,466	1,332	1,078	913	942	1,250	11,355
陶芸室	0	0	132	231	133	236	196	167	164	22	33	167	1,481
図書室	0	0	0	171	164	151	160	174	87	52	97	24	1,080
計	0	0	3,003	4,074	3,770	3,833	4,719	5,175	4,253	2,801	3,018	4,569	39,215

糸島市健康福祉センター「ふれあい」利用者数 延べ17,077人（令和元年度 40,222人）

月 会場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
健診・研修室	0	37	210	255	453	233	260	252	258	257	275	367	2,857
ふれあい交流室	0	0	174	144	190	225	194	287	194	320	217	372	2,317
和室1,2	0	0	89	59	60	57	75	59	74	52	71	105	701
和室3	0	0	40	51	39	65	71	53	51	16	31	40	457
趣味の部屋	0	0	128	318	207	206	238	244	243	143	112	294	2,133
陶芸室	0	0	0	66	55	84	80	78	81	37	0	61	542
一般入浴	0	0	0	32	99	131	227	278	305	314	316	318	2,020
ヘルストロン・マッサージ	0	0	67	73	49	81	88	87	85	66	82	96	774
テニスコート	0	0	450	488	507	429	757	652	593	368	463	569	5,276
計	0	37	1,158	1,486	1,659	1,511	1,990	1,990	1,884	1,573	1,567	2,222	17,077

糸島市高齢者福祉施設「二丈苑」利用者数 延べ1,612人（令和元年度 4,180人）

月 会場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大研修室	0	0	68	173	57	103	149	112	46	0	91	147	946
小研修室(和室)	0	0	69	21	71	69	107	84	49	44	75	77	666
調理実習室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	137	194	128	172	256	196	95	44	166	224	1,612

(2) 基幹型地域包括支援センター事業

- ◆基幹型地域包括支援センターとして、各地域包括支援センターにおける業務・連絡調整を行うとともに事業運営に必要な情報等の共有を図り、センターの機能強化に取り組んだ。また、各地域包括支援センター職員に対し、ケアマネジメントの質の向上を目的とした研修の開催や処遇困難事例等への助言、同行訪問等の支援を通じ各センターの資質向上を図った。

【相談件数】

来所	電話	訪問	その他	合計
319 人	1,115 人	290 人	50 人	1,774 人

【相談者内訳】

包括支援センター	本人	家族（同居）	家族（別居）	親戚・近隣・知人	民生委員
1,087 人	92 人	21 人	18 人	8 人	14 人
見守り協力員	行政関係者	介護支援専門員	介護サービス事業所	担当ケアマネ	一般事業所
2 人	217 人	42 人	27 人	99 人	3 人
病院・診療所	医師	その他	合計		
47 人	3 人	94 人	1,774 人		

【相談内容】

総合相談		困難事例	
介護認定	28 件	虐待関係	117 件
介護保険サービス	32 件	権利擁護・成年後見	300 件
介護予防ケアマネ計画届出	1 件	ケアマネ支援	18 件
総合事業サービス	24 件	消費者被害	4 件
介護相談（介護方法等）	5 件	その他困難事例	781 件
福祉用具	3 件	小 計	1,220 件
住宅改修	5 件	合 計	1,774 件
施設入所	14 件		
在宅医療	7 件		
見守り支援	73 件		
連絡・引継	129 件		
認知症	163 件		
その他	70 件		
小 計	554 件		

【虐待の内訳】

身体的虐待	経済的虐待	精神的虐待	性的虐待	介護放棄	合計
14 件	10 件	4 件	0 件	1 件	29 件

【地域ケア会議への参加】

地域ケア会議 (個別支援)	地域ケア会議 (処遇困難事例)	地域ケア会議 (地域課題)	研修会	その他	合計
60 件	2 件	39 件	9 件	2 件	112 件

【関係者等会議への参加】

行政関係主催	地域関係者主催	業務担当者関係	その他	合計
67 件	59 件	39 件	4 件	169 件

【地域包括支援センター事務局連絡会議等】

開催回数 11 回（内センター長会議 2 回） 事前会議 11 回

部会会議の運営 ・保健師、看護師部会 11 回 ・社会福祉士部会 16 回
 ・主任介護支援専門員部会 11 回

【介護予防ケアマネジメント研修（全体研修）の開催】

第 1 回研修	開催日：8 月 31 日
	テーマ：通所型サービス C の現状と課題の共有 講師：井手 満雄氏（渡辺整形外科病院）
	参加人数：41 人 （基幹型包括・市職員含む）
第 2 回研修	開催日：12 月 17 日
	テーマ：データから見る現状課題と地域包括支援センターのこれから 講師：小林 智子課長（介護・高齢者支援課）
	参加人数 40 人 （基幹型包括・市職員含む）

【認知症初期集中支援チーム会議】

協議件数 9 件（実数）

モニタリング報告（登録修了者等） 25 件

【市民への啓発活動】

- ・前原地区民生委員児童委員協議会高齢者部会
- ・家庭介護者向け研修会
- ・シニアクラブ会報誌への各地域包括支援センター活動状況の掲載

【糸島地区介護保険事業者連絡会】

糸島地区介護保険事業者連絡会の事務局として、介護事業所との連携を図り、毎月役員会や定例会の支援を行った。

(3) 障害者相談支援事業

◆障がい者相談支援センターは、糸島市内に「糸島市社協」と「志摩学園」、「木の実」、本年度新たに「木の実二丈センター」が加わり計4箇所に相談窓口が設置され、障がいに関わる全ての相談に対して電話や訪問などにより相談支援を実施している。また、各センターとの連携を図るため事例検討や相互の情報交換等を行った。計画相談業務では、障害支援区分認定調査事業とともに利用者の支援を行った。

□ 相談実績

【年齢層】

10歳未満	562件	40代	547件	80代	11件
10代	311件	50代	553件	90代以上	0件
20代	238件	60代	612件	不明	26件
30代	302件	70代	67件	合計	3,229件

【障がい種別】

身体障害	871件	精神障害	852件	難病	52件
重症心身障害	119件	発達障害	540件	その他	94件
知的障害	646件	高次脳機能障害	55件	合計	3,229件

【相談方法】

電話	1,224件	来所	201件	訪問	469件
同行・引率	19件	他機関調整	1,281件	その他	35件
				合計	3,229件

【支援内容】

①福祉サービスの利用等に関する支援	1,247 件	⑦家計・経済に関する支援	111 件
②障害や病気の理解に関する支援	55 件	⑧生活技術に関する支援	258 件
③健康・医療に関する支援	316 件	⑨就労に関する支援	265 件
④不安の解消・情緒安定に関する支援	216 件	⑩社会参加・余暇活動に関する支援	87 件
⑤保育・教育に関する支援	425 件	⑪権利擁護に関する支援	27 件
⑥家族関係・人間関係に関する支援	174 件	⑫その他	48 件
		合計	3,229 件

【地域割】

前原	二丈	志摩	その他	不明	合計
2,517件	277件	300件	108件	27件	3,229件

【障がい者・児別】

障がい者	障がい児	合計
2,447件	782件	3,229件

(4) 生きがいデイ教室（総合事業）

◆総合事業として、前原東圏域を対象に月曜日に実施。

（単位：人）

あごら/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月	実人数	34	33	33	34	34	33	32	31	31	32	33	33	33/月
	利用者数 (延べ)	49	49	100	104	96	59	96	94	73	74	90	100	984

（参考：令和元年度 月平均 37 人 1,232 人）

(5) 移送サービス事業

◆公共交通機関等の利用が困難な在宅の寝たきり高齢者等を移送用車両で医療機関等へ移送するサービス。（登録車両5台）

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録	高齢者	110	108	107	106	105	107	108	105	105	103	101	101	1,266
	障害者	35	36	36	36	38	38	38	38	38	38	38	38	447
	計	145	144	143	142	143	145	146	143	143	141	139	139	1,713
利用	高齢者	16	12	22	19	14	15	24	21	19	11	15	22	210
	障害者	5	3	7	8	7	10	10	8	6	5	6	8	83
	計	21	15	29	27	21	25	34	29	25	16	21	30	293

（参考：令和元年度 419 人）

(6) 配食サービス事業

◆調理が困難な 65 歳以上で一人暮らし等高齢者に対して、栄養のバランスのとれた食事を昼・夜に提供。4コースで対応（志摩地区は志摩園が受託）

（単位：人、食、四捨五入）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実利用者数	昼	60	60	57	55	56	55	57	56	52	49	48	49	55人/月
	夕	91	92	90	81	84	80	80	79	75	72	70	69	80人/月
	合計	151	152	147	136	140	135	137	135	127	121	118	118	135人/月
配食数	昼	1,216	1,199	1,127	1,075	1,117	1,023	1,068	1,015	960	898	870	938	12,506
	夕	2,195	2,175	1,922	1,899	1,937	1,766	1,780	1,679	1,670	1,572	1,490	1,633	21,718
	合計	3,411	3,374	3,049	2,974	3,054	2,789	2,848	2,694	2,630	2,470	2,360	2,571	34,224

（参考：令和元年度 45,394 食）

(7) 母子家庭等日常生活支援事業

派遣件数 実績なし (参考：令和元年度実績なし)

(8) ふれあい生きいきサロン活動事業

◆ふれあい生きいきサロン数 122 (前原地区 62、二丈地区 24、志摩地区 36)

※うち、2 団体が新規立ち上げ。3 団体が令和 2 年度で活動を休止。(その他 1 団体が、年度当初に活動を休止の報告があり、総数に含まず。)

①地区別サロン一覧

[前原地区]

校区	団体名	行政区	開催場所
波多江	寿サロン	高田東	高田自治会館
	茶話野香 (さわやか)	池田北	池田公民館
	いきいきサロンはたえ	波多江	西沖公民館・中町公民館等
	高田西「わいわいサロン」	高田西	高田自治会館
	よってきんしゃい	池田南	池田公民館
東風	いきいきサロン浦志	浦志東	浦志公民館
	いきいきサロン志登の会	志登	志登公民館
	泊一ふれあいサロン	泊一	泊一公民館
	潤南サロン	潤南	あごら
	潤おしゃべりカフェ	潤北	東風公民館
前原	さわさわ会	浦志南	サーパス参番館 集会所
	いきいきサロン東町	東町	東町公民館
	サロンニシマチ	西町	西町公民館
	ほがらかサロン	北新地	北新地公民館
	北本町夢サロンー九会	北本町	北本町公民館
	筒井町いきいきサロン	筒井町	筒井町公民館
	ふれあいいきいきサロン南本町	南本町	ホテルニューガイア糸島会議室
	新田サロン木曜会	新田	新田本村公民館
	浦志西いきいきサロン	浦志西	ネオハイツ前原集会室
	上町中央サロン	上町中央	上町中央公民館
	サロン上新町	上新町	前原公民館
	サロン油比の里	油比	油比公民館
前原南	上町ゆうゆうサロン	上町	前原南公民館
	篠原 1 区ほほえみサロン	篠原 1	篠原 1 区自治公民館
	ひまわりサロン	老松町	老松町公民館
	いきいきサロンひまわりの会	中央	県営住宅前原団地集会所
	サロン笹山	笹山	笹山公民館
	さんさんサロン	篠原三	前原南公民館

南風	美咲ふれあい悠々サロン	美咲が丘東	美咲が丘第一集会所
	よりあいサロンたく	多久	多久集落センター
	ほっとカフェ	美咲が丘西	美咲が丘第2集会所
	よりあい処南風台	南風台三丁目	南風台集会所
	笑楽会	荻浦	荻浦第一公民館
加布里	しのめ（東雲）会	東	東区集落センター
	神在二生きいきサロン	神在2	神在2区公民館
	かみありさん元気かい	神在3	神在3区公民館
	木曜会	神在4	釜塚コミュニティーセンター
	ひだまりサロン「浜の園」	神在5	浜の園団地集会所
	かむりいきいきサロン1・2・3組	加布里東・中・西	加布里公民館
長糸	長野 友愛の会	長野	長野集落センター
	飯原サロン	飯原	飯原公民館
	川付ほっとサロン	川付	川付公民館
	サロン瀬戸	瀬戸	瀬戸公民館
雷山	ぽっかぽか広場	香力	香力自治会館
	有田ふれあいいいきいきサロン	有田	有田公民館
	づくぼうサロン	高上	高上公民館
	いきいきサロン「ふっくら（福蔵）」	蔵持	蔵持公民館
	富いきいきサロン	富	富集会所
	よかとこサロン	有田中央	有田中央公民館
怡土	西堂笑話会	西堂	西堂集落センター
	曽根 より愛サロン	曽根	曽根公民館
	川原親和会	川原	川原公民館
	王丸これからクラブ	王丸	王丸公民館
	サロン住吉会	井原	井原自治会館
	お達者クラブ	高来寺	高来寺公民館
	大門いきいきサロン	大門	大門公民館
	末永サロン加多朗カイ	末永	末永構造改善センター
	いきいきサロン三雲	三雲	三雲公民館
	ふれあいサロンたかす	高祖	高祖公民館
	ひなたぼっこ輝きサロン	瑞梅寺	のぞみ館（空き家）
	井原なごみの会	井原	井原公民館
	サロン十五日会	大門	大門構造改善センター

[二丈地区]

一貴山	地域の茶の間・武サロン	武	武公民館
	サロン睦会	上深江	上深江公民館
	松国いきいきサロン	松国	松国公民館
	いきいきサロン田中（令和２年度休止）	田中	田中研修センター
	にこにこ石崎会	石崎	石崎公民館
	いきいきサロン長石	長石	長石公民館
	ハローサロン	波呂	波呂公民館
深江	本町サロン	本町	本町公民館
	やよい野ふれあいサロン	やよい野	二丈苑
	東町ふれあい生きいきサロン	東町	東町公民館
	白浜元気会	白浜町	白浜町公民館
	元町ふれあいサロン	元町	元町研修センター
	いきいきサロン下松末	下松末	下松末公民館
	宮小路ふれあい・いきいきサロン「ひまわり」	宮小路堂山	宮小路公民館
	片山サロン	片山	片山公民館
	南町いきいきサロン元気クラブ	南町	カーサ深江集会所
	松末サロン	松末	松末公民館
福吉	大入すこやかサロン （令和２年度 休止）	大入	大入公民館
	吉井下いきいきサロン	吉井下	福吉公民館
	高齢者サロン田村（令和２年度休止）	吉井下	代表者自宅
	ふれあい竹戸サロン	吉井上	代表者自宅
	福井わくわくサロン	福井	福井区西集会場
	リフレッシュ！加茂川	佐波	佐波分校会館
	バンビハウス	鹿家	鹿家公民館

[志摩地区]

可也	初いきいきサロン	初	初公民館
	ひかりが丘いきいきサロン	ひかりが丘	ひかりが丘公民館
	花の会	師吉団地	師吉団地公民館
	そよかぜ	師吉団地	師吉団地公民館
	津和崎シニアサロン	津和崎	津和崎公民館
	富士見ヶ丘福祉サロン	富士見ヶ丘	富士見ヶ丘集会所
	稲葉ふれあいサロン	稲葉	稲葉公民館
	小金丸西いきいき微笑会	小金丸西	小金丸西公民館
	仲良し会	師吉	師吉公民館
	楽しい仲間作り	師吉	師吉公民館

可也	ヨーイ元気会	井田原	井田原公民館
	もやいの会	師吉	師吉公民館
	火山シニアサロン	稲留	稲留公民館
	大塚いきいきサロン	大塚	大塚公民館
	なごやか会	小金丸西	個人宅
	白うさぎの会	稲葉	稲葉コミュニティーセンター
	大石いきいきサロン	大石	大石公民館
	親山ふれあいサロン	親山	親山区自治公民館
桜野	いきましよう会	野北浜	野北浜公民館
	笑老会	桜井東	谷公民館
	さわやか会	桜井東	末松集落センター
	なごみ会	桜井東	東公民館
	川上福祉サロン	川上	川上公民館
	大町サロン	大町	大町公民館
	間少路クラブ	間少路	間少路公民館
	本村いきいきサロン	本村	本村公民館
	はつらつサロン	川上	川上公民館
引津	岐志浜いきいきサロン	岐志浜	岐志浜公民館
	岐志岡いきいきサロン	岐志岡	岐志岡公民館
	野辺・福ノ浦サロン	野辺・福ノ浦	福ノ浦公民館
	東貝塚サロン	東貝塚	東貝塚公民館
	新町いきいきサロン	新町	新町公民館
	元気会	芥屋	芥屋公民館
	みんなの広場	西貝塚	西貝塚公民館
	松原ふれあいサロン	松原	松原公民館
	いきいきサロン船越	船越	船越公民館

②サロン代表者会（研修も含む）

月	日	事業内容	講師等	会 場	参加者数
7	14	介護予防と感染予防ミニ講座・相談会 （志摩地区）	特定 NPO 法人 介護予防で日本 を元気にする会 大群 千鶴 氏	ふれあい	講座 12 人 相談会 1 人
	17	介護予防と感染予防ミニ講座・相談会 （二丈地区）		深江 コミュニティセンター	講座 7 人 相談会 2 人
	21	介護予防と感染予防ミニ講座・相談会 （波多江・東風・前原・前原南校区）		あごら	講座 8 人 相談会 2 人
	28	介護予防と感染予防ミニ講座・相談会 （南風・加布里・長糸・雷山・怡土校区）		あごら	講座 7 人 相談会 2 人
2	10	活動報告及び申請等について	社協地域課	二丈苑	21 人
	12	活動報告及び申請等について		ふれあい	29 人
	19	活動報告及び申請等について		あごら	26 人
	19	活動報告及び申請等について		あごら	30 人

③サロンボランティア団体の代表者会及び会員研修会

月	日	事業内容	講師等	会 場	参加者数
8	29	代表者会 （コロナ禍でのボランティア活動について）	社協地域課	あごら	9 人
3	5	代表者会 （移動支援について）	社協地域課	あごら	7 人

（コロナ禍により研修会は中止）

④サロンボランティア派遣実績

	令和 2 年度	参考（令和元年度）
登録団体数	9 団体	9 団体
派遣サロン数	63 回	234 回
活動人数（延べ）	139 人	633 人
【ボランティア団体名】 ①はつらつマイスターズ ②はるか ③いの会 ④セラピューティックケア「ハーモニー」 ⑤ジネスボランティア ⑥回想法ボランティア「つんのーて」 ⑦食生活改善推進会 ⑧DVD 上映ボランティア銀幕 ⑨サロン事務支援ボランティア（令和 2 年度新団体）		

⑤薬剤師会の派遣実績

令和 2 年度は、派遣実績が 0 回（コロナ禍により依頼なし）

⑥新型コロナウイルスに関するサロン事務実績

月	日	実施内容	方 法
6	2	サロンの再開にあたり実施すべき対応について周知	郵送にて、市内全サロンに通知
7		アルコール消毒液を配布。 集い時の感染予防対策について周知	各地区代表者会（7月14日～）にて全サロンに800mlの消毒液を配布する。
8	4	①サロンの開催状況についてのアンケート調査の依頼 ②社協バスの運行中止について ③次年度の助成金申請に係る参加者名簿の記入方法について	郵送にて、市内全サロンに通知 ①開催状況や内容変更についての確認と、代表者や世話役の不安を聴き、支援に役立てるため実施。 ②令和2年度は当面の間、社協バスの運行を中止する旨を連絡。 ③手紙や電話での安否確認、見守り訪問もサロン開催に含め、名簿に記入するように連絡。
9	30	アンケート調査の集計結果の報告	郵送にて、市内全サロンに通知。
10	20	福岡大学医学部看護学科 井上ゆりこ氏 アンケート調査の協力 調査名「新型コロナウイルス感染拡大による高齢者の生活・心身機能の変化と支援に関する検討」	地域で実施されていた社会活動の機会が減少してしまい、今後の新たな生活様式での「介護予防・認知症予防の取組」について検討するための調査の協力依頼を受ける。全サロンに回答用紙を3通渡し、郵送調査を社協経由で実施。
1	15	市の広報紙のサロン特集ページへの協力	志摩地区師吉団地「花の会」の密着取材および広報記事への取材協力を行い、コロナ禍のサロン開催時の工夫や相談先をPR。
2		サロンでの送迎状況についてのアンケート調査	サロンへの送迎の有無や、今後送迎が必要となるかなどのアンケートを実施。令和3年度に調査結果を説明予定。
3		サロン事務支援ボランティアの登録・派遣の開始 個別相談会（3月23～26日）	サロンより、事業報告や会計事務が負担になっているとの声があり、市民ボランティアを広報紙にて募集。5名のボランティア希望があり、そのうち3名が、3月の個別相談会に参加される。 8サロンの支援を実施。

(9) 特別支援学校高等部送迎バス運行事業（福岡県委託事業）

◆生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバス運行事業

- ・生の松原特別支援学校高等部登録数10人

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登校	0	23	146	173	101	151	176	157	160	124	145	129	1,485
下校	0	20	129	152	90	139	151	135	137	109	128	116	1,306
計	0	43	275	325	191	290	327	292	297	233	273	245	2,791

（参考：令和元年度 登録10人 延べ2,989人）

(10) 手話奉仕員養成研修事業

◆コロナ禍により中止

(11) 障害支援区分認定調査事業

調査件数 42 件 （内訳：新規18件 更新 22 件 区分変更 2 件）

障害種別 ・身体 18 件 ・精神 8 件 ・療育 8 件 ・身体,療育 3 件
 ・身体,精神 2 件 ・難病 3 件

（参考：令和元年度 58 件）

(12) 移動支援（集団型）

◆生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバスの介助員派遣

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校日	0	5	22	21	12	19	22	19	19	15	17	16	187
延べ派遣者数	0	10	44	42	24	38	44	39	39	30	34	33	377

（参考：令和元年度 延べ376人）

(13) 生活支援体制整備事業

①生活支援体制整備推進協議会の設置、運営

年 3 回開催

No.	開催日	協議事項	参加者数
1	7 月 9 日(木)	・前年度の報告、圏域別報告、委員報告 ・令和 2 年度生活支援体制整備事業計画について ・地域ささえあい会議（第 2 層協議体）について ・あんしん生活サポート事業新メニューについて	21 人
2	10 月 14 日(水)	・生活支援体制整備事業進捗状況（4 月～9 月） ・地域ささえあい会議の進捗状況と内容、圏域別報告 ・地域ささえあい会議からの課題抽出 「高齢者の移動問題について（現状と課題、解決に向けて）」	19 人
3	2 月 3 日(水)	・生活支援体制整備事業進捗状況（10 月～1 月） ・地域ささえあい会議の進捗状況（10 月～1 月）、圏域別報告 ・今年度に協議された主な内容や意見の概略と対応報告 ・今年度の事業総括について ・令和 3 年度生活支援コーディネーターの配置について	20 人

②市への連絡会議（定例会）

年 5 回開催

③住民主体の生活支援活動を担う人材養成講座の開催

- ◆加布里校区、桜野校区を対象に 2 会場で地域ささえあいサポーター講座（3 日間）を開催。コロナ禍ではあったが、地域の協力もあり、定員を上回る受講生を確保できた。また、サポーター養成講座修了者を対象として、地域ささえあいサポーターステップアップ講座を地区別サポーター交流会にあわせて開催した。

地域ささえあいサポーター養成講座 受講者 36 人

地域ささえあいサポーター登録者 20 人が登録

地域ささえあいサポーターステップアップ講座 申込者 90 人

④社会資源調査・ヒアリング等

- ◆加除式情報誌本体およびダイジェスト版に掲載済み団体の情報の収集・調査を経て更新するとともに、免許返納特典のある事業所の調査を行った。

掲載事業所数 72 ヶ所（前年度比+5）

延べ掲載 82 枠（前年度比+6）

⑤地域ケア会議への参加・地域課題の整理

- ◆地域ケア会議に参加し、地域課題解決へ向けての協議、あんしん生活サポート事業や地域ささえあい会議の情報提供を行った。

12 校区延べ 25 回参加

⑥既存の組織・団体との連携、事業の啓発活動

- ◆校区社協会長・事務局長会議、民生委員児童委員定例会、校区社会福祉協議会、会議事業者連絡会などで生活支援体制整備事業、糸島市あんしん生活サポート事業、地域ささえあい会議（第２層協議体）などの説明を行った。

周知・啓発活動 24 回

⑦研修会への参加

福岡県 生活支援コーディネーター連絡会	1 回
生活支援コーディネーター研究協議会（オンデマンド・オンライン）	2 回
移動支援事例報告会（オンライン）	1 回
生活支援コーディネーターステップアップ研修	1 回
生活支援コーディネーター地域サミット inOKINAWA（オンライン）	1 回
計 6 回	

⑧地域ささえあい会議（第２層協議体）の設置推進

- ◆初開催の 1 校区を含む 15 校区全てで会議が開催された。そのうち 5 校区では、会議の中で地域課題を見つけ、次につなげることができた。また別の 5 校区では事前協議で選定した課題を協議し、解決に向けた活動が動き出した。

校 区	期 日	校区 参加者	内 容
波多江	事前協議 6 月 26 日(火)		①サロンの取組 ②見守り訪問 行政区ごとに活動が異なっていたため、情報共有した。 今後の活動に有効活用が期待される内容だった。
	第 1 回 7 月 22 日(火)	11	
	事前協議 8 月 26 日(火)		
	第 2 回 10 月 6 日(火)	10	
東 風	事前協議 7 月 28 日(火)		①見守り訪問 ②高齢者の移動 参加者間の問題のとらえ方が異なっていることが確認できた。移動のアイデアは、今後につながる内容だった。
	第 1 回 8 月 4 日(火)	17	
	事前協議 12 月 22 日(火)		
	第 2 回 1 月 19 日(火)	19	
怡 土	事前協議 5 月 28 日(木)		①あんしん生活サポート事業 ②高齢者生活アンケート 書面会議にて、アンケート結果を行政区役員としてどうとらえたかの意見の共有を行った。今後の校区社協としての活動に繋げる方向性が出てきている。
	第 1 回 7 月 4 日(土)	36	
	事前協議 2 月 16 日(火)		
	第 2 回 3 月 13 日(土)	書面 会議	
前 原	事前協議 5 月 28 日(木)		①行政区の課題と解決に向けたアイデア ②コロナ禍のサロン活動、ささえあいマップ 行政区の魅力を見つけて発信することを企画し、実現に向かっている。
	第 1 回 6 月 6 日(土)	38	
	事前協議 2 月 12 日(金)		
	第 2 回 2 月 20 日(土)	38	
南 風	第 1 回 10 月 10 日(土)	17	①②「南風ささえあいの日」の実施について 具体的な活動を生み出し、活動につなげることができた。
	第 2 回 11 月 21 日(土)	13	
	南風ささえあいの日 12/13(日)		
加布里	事前協議 9 月 18 日(金)		①地域活動の状況の情報共有 ②校区内の取組の情報共有 地域ささえあい通いの場の立ち上げにつながった。
	第 1 回 10 月 15 日(木)	10	
	事前協議 7 月 13 日(水)		
	第 2 回 3 月 4 日(木)	10	
前原南	第 1 回 1 月 8 日(金)	6	①校区内の活動に対する補償について
長 糸	事前協議 12 月 2 日(水)		①地域カフェ(認知症カフェ)の実施について ②みらいカフェ実施の反省と次年度開催への検討 多世代型認知症カフェの立ち上げにつながった。
	第 1 回 12 月 13 日(日)	19	
	長糸地域カフェ 3/26(金)		
	第 2 回 3 月 26 日(金)	20	
雷 山	第 1 回 9 月 17 日(木)	2	①校区の課題と解決のアイデア コロナ禍や役員交代もあり、サロン開催判断がむずかしいことから、サロンに関する勉強会を開催し、不安軽減につなげることができた。
	雷山校区社協研修 10/30(金)		
一貴山	事前協議 10 月 21 日(水)		①地域ささえあい通いの場の開設 ②あんしん生活サポート事業の現状 地域ささえあい通いの場の立ち上げにつながった。
	第 1 回 10 月 31 日(土)	25	
	事前協議 1 月 19 日(火)		
	第 2 回 2 月 13 日(土)	30	
深 江	事前協議 9 月 17 日(木)		①校区内の生活福祉課題 ②自主運行バス ①で出てきた知りたい問題について②で解決ができた。
	第 1 回 10 月 6 日(火)	10	
	事前協議 11 月 19 日(木)		
	第 2 回 11 月 26 日(木)	10	
福 吉	第 1 回 9 月 15 日(火)	7	①高齢者の移動手段の校区での取り扱い 免許返納後の高齢者の生活について考えていく方向性
	事前協議 11 月 19 日(木)		
可 也	事前協議 9 月 9 日(水)		①②福祉委員活動 ①で内容や課題を共有し②では事例の紹介ができた
	第 1 回 9 月 12 日(土)	17	
	事前協議 9 月 30 日(水)		
	第 2 回 10 月 3 日(土)	22	
桜 野	事前協議 10 月 21 日(水)		①地域ささえあい会議の進め方 ②会議についての校区社協での共有と参加者 地域ささえあい推進員が構成員に正式追加された。
	第 1 回 10 月 23 日(金)	10	
	事前協議 3 月 10 日(水)		
	事前協議 3 月 17 日(水)		
引 津	第 2 回 3 月 21 日(土)	22	①見守り訪問 行政区により異なる現状を全体で共有できた。
	事前協議 8 月 18 日(火)		
	第 1 回 8 月 19 日(水)	28	

(14) 糸島市あんしん生活サポート事業（総合事業訪問 B）

①地域ささえあい推進員連絡会議

◆糸島市あんしん生活サポート事業の調整役として小学校区に推進員を配置。

令和 2 年度より新たに引津校区に 1 人配置でき、12 人の推進員と 2 人の生活支援コーディネーターとで連絡会議を毎月開催。情報交換、情報提供をはじめ、コーディネートの詳細協議や新しいメニューの開発、サポーターに対する活動支援に関する協議などを行っている。

地域ささえあい推進員連絡会議 年 10 回開催

（4 月、5 月はコロナ禍により中止）

推進員設置校区 波多江校区、東風校区、怡土校区、南風校区、前原校区、
前原南校区、雷山校区、一貴山校区、深江校区、福吉校区、
桜野校区、引津校区

②利用者実績

◆令和 2 年度に入り、地域包括支援センターの協力もあって、利用者が急増。令和元年度と比較して、実動サポーター数、サポート実績数ともに増加した。

実動サポーターには使い捨て手袋やチケット受け渡し封筒などを配布し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取り、サポートを継続。

またケアプランセンターにも本事業の理解が進み、要介護から要支援に変更される方に対して、早めの事業紹介と事業利用開始ができた。

利用者：33 人

サービス内容：買い物 51 件、ゴミ出し 452 件 計 503 件

圏 域	校 区	対象者数	対応サポーター数	サポート回数	見守りのみ 回数
前原東	波多江	4 人	4 人	買い物 4 ゴミ出し 6 5	2 3
	東風	1 人	1 人	ゴミ出し 2 1	1
	怡土	5 人	7 人	買い物 1 ゴミ出し 6 6	1 5
前原西	前原	2 人	3 人	ゴミ出し 1 1 0	1 2
	南風	4 人	4 人	ゴミ出し 3 0	0
	加布里	3 人	4 人	買い物 2 2 ゴミ出し 2 5	2
前 原	前原南	7 人	7 人	買い物 1 ゴミ出し 6 3	1 1
二 丈	深江	1 人	1 人		0
志 摩	可也	4 人	4 人	買い物 3 0 ゴミ出し 2 4	5 1
	桜野	2 人	2 人	ゴミ出し 4 1	0
計		3 3 人	3 7 人	5 0 3 回	1 1 5 回

③圏域別・校区別サポーター交流会

- ◆校区担当の地域ささえあい推進員が校区別交流会を企画・運営。活動が住民主体であることの意義づけや、推進員のリーダーシップ、サポーター相互の連帯感を高めることができています。交流会には地域包括支援センター職員や民生委員児童委員が参加することもあり、高齢者に対する事業等について情報共有ができるとともに、高齢者にやさしいサポート情報誌の新たな掲載候補の情報発掘にもつながっている。

15 校区対象 17 回開催 延べ 188 人参加

(15) 地域力強化推進事業（我が事丸ごとの地域づくり推進事業）

- ◆「経済的困窮」「孤立」「複合的課題」など制度の狭間にある問題をまるごと受け止め、高齢者・障がい者・児童といった分野を超え、地域住民、関係支援機関が協働し、地域の課題を主体的に把握し、その課題解決を試みる体制づくりを支援する事業。

- ①「住民の身近な圏域」において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決することが出来る環境の整備

ア 地域の担い手養成

取組内容	地域ささえあいサポーター養成講座の実施（年 2 回）
実績	地域ささえあいサポーター養成講座を 2 ヶ所で開催し、累計 196 名のサポーターが登録

イ 地域ささえあい会議の開催支援

取組内容	地域の生活課題解決に向け、取組むことや出来ることなどをみんなで話し合う場。地域の多様な関係者がメンバーとなって地域のみんなの力を集結する「地域ささえあい会議」を 15 校区全てで立ち上げることができた。 事前協議を通して課題を選定し会議内容を考える、テーマに応じて必要な資料を準備する、担当課の職員と調整するなど、校区によって支援方法を試行錯誤。地域主体の開催を支援した。
実績	15 校区計 26 回開催。うち 5 校区では、会議の中で地域課題を見つけ、次につなげることができた。また別の 5 校区では事前協議で選定した課題を協議し、解決に向けた活動が動き出した。

ウ 課題解決型のボランティアの組織化

取組内容	令和2年12月12日（土）に第4回糸島市我が事丸ごと研究大会を行い、地域課題解決型ボランティアの仲間づくり及び組織化を行った。
実績	参加者は50名。昨年同様、地域生活課題解決に熱意のある人や、既に取り組んでいる人達を実行委員として、参画していただき「新型コロナウイルス禍での地域活動」の講演会を実施した。今回は感染拡大防止のため、時間を短縮しての開催となった。

エ 校区社会福祉協議会の活動強化

取組内容	校区社協相互の連携及びコロナ禍での活動支援
実績	校区社協会長・事務局長会議を年2回開催し、各校区の取組の情報共有を行った。コロナ禍で思うように事業の実施が出来ずに、工夫し取組した報告をされた。

②「住民に身近な圏域」において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決することが出来る環境の整備

ア CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の配置

制度の狭間に置かれた人の早期発見・早期支援・活躍の場（社会参加の第一歩）創出を行い、支援の受け皿機能の整備

イ 福祉まるごと出張相談会の開催

コミュニティソーシャルワーカーによる「福祉まるごと出張相談会」を市健康福祉センター「ふれあい」と市高齢者福祉施設「二丈苑」で隔月開催

取組内容	ア 福祉まるごと相談窓口を開設し、CSWが当事者や関係者から相談を受け、伴走型支援を行う。 イ 健康福祉センター「ふれあい」及び高齢者福祉施設「二丈苑」にて、職員2名体制で出張相談会（予約なし相談可）を実施する。対象は、相談者本人・家族と民生委員児童委員等地域の見守り関係者など。
実績	ア 相談件数81件 解決件数72件 連携件数60件 イ 市内2か所で福祉まるごと相談会を実施 新設の長系校区の地域カフェ「長系みらいカフェ」で、地域包括支援センターと連携し相談会を実施

(16) 生活困窮者自立支援相談事業

◆糸島市役所（福祉支援課）へ職員を派遣し、市の関係各課と連携を図りながら、生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に対応する相談窓口として、生活困窮者の抱えている課題を評価・分析（アセスメント）し、その課題を踏まえた「自立支援計画」を作成するなどの支援

①相談支援実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
新規相談受付件数(総数)		100	52	27	41	63	96	47	38	33	46	46	54	643
継続相談受付件数(前年度からの継続者を含む)		139	183	95	100	154	224	192	148	122	125	105	98	1,685
終了者数(前年度からの継続者を含む)		27	14	116	34	13	22	74	83	57	37	55	41	573
生活困窮を経て、生活保護となった者		2	0	3	2	0	3	2	4	3	3	2	0	24
プラン作成件数(総数)		5	38	2	4	6	6	4	5	3	5	6	3	87
就労支援対象者数 (プラン期間中の一般就労を目標にしている)		1	8	1	4	5	4	4	1	1	5	4	2	40
法に 基づく 事業等	住居確保給付金	1	4	0	1	1	2	2	0	0	1	1	0	13
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計改善支援事業	3	5	2	3	2	2	2	4	3	2	1	1	30
	就労準備支援事業	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2	2	7
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	1	7	1	3	5	5	4	1	0	5	3	2	37
その他	生活福祉資金等による貸付	0	34	1	1	2	3	1	1	1	5	3	1	53
	生活保護受給者等就労自立促進事業	1	1	0	2	2	3	3	1	0	2	2	0	17

②会議・自主研修会実績

	会議	研修（テーマ）
4月	9日：支援調整会議（書面） 24日：就労準備支援調整会議（書面） 28日：月末処理会議	7日：コロナ特例貸付 15日：コロナ特例貸付
5月	14日：支援調整会議（書面） 26日：月末処理会議 29日：就労準備支援調整会議	29日：特例貸付プランの対応
6月	11日：支援調整会議 26日：就労準備支援調整会議 30日：月末処理会議	1日：ケース検討 19日：モニタリングについて 19日：ケース検討
7月	9日：支援調整会議 28日：月末処理会議（書面） 31日：就労準備支援調整会議	7日：プランの説明
8月	20日：支援調整会議 25日：月末処理会議（書面） 28日：就労準備支援調整会議	
9月	10日：支援調整会議 25日：就労準備支援調整会議 29日：月末処理会議	4日：ケース検討
10月	8日：支援調整会議 27日：月末処理会議 30日：就労準備支援調整会議	
11月	12日：支援調整会議 24日：月末処理会議 27日：就労準備支援調整会議	6日：ケース検討 18日：ケース検討
12月	10日：支援調整会議 22日：月末処理会議 25日：就労準備支援調整会議	
1月	14日：支援調整会議（オンライン） 26日：月末処理会議 29日：就労準備支援調整会議（書面）	
2月	18日：支援調整会議（オンライン） 26日：就労準備支援調整会議（書面）	
3月	2日：月末処理会議 11日：支援調整会議（オンライン） 23日：月末処理会議 26日：就労準備支援調整会議	18日：伝達研修（引きこもり支援）

(17) 市民後見推進事業

- ◆一般の市民が地域で後見人として活動することができるよう市民後見人養成講座の修了者を対象にフォローアップ研修を開催し、交流会やワークショップを行い、市民後見人として活動できるように推進した。

また、市民後見推進検討委員会を開催して、糸島市での市民後見の推進について協議を行った。

①糸島市市民後見人養成講座の開催

日時：令和2年9月12日（土）から令和2年12月5日（土）

全7回（27時間）

参加者：18人 修了者16人

場所：糸島市健康福祉センターあごら視聴覚室

「講座内容一覧」

実施日時	研修テーマ	講師
9月12日（土） 9時30分～12時30分	開講式	糸島市、糸島市社会福祉協議会 NPO法人高齢者・障害者安心サポートネット
	ガイダンス、留意事項、ゼミ組み分け ルール説明	糸島市社会福祉協議会 NPO法人高齢者・障害者安心サポートネット
	地域共生社会について	筑紫女学園大学教授 山崎安則
	地域生活支援について	糸島市社会福祉協議会 加藤博貴
9月26日（土） 9時30分～15時30分	身上保護と意思決定支援	NPO法人高齢者・障害者安心サポートネット 理事長 森山 彰
	法定後見の申立手続について	高齢者・障害者安心サポートネット 業務部長 豊留一
	後見事務の準備 (選任から財産目録提出まで)	高齢者・障害者安心サポートネット 筑紫業務主任 福村金子
10月10日（土） 9時30分～12時30分	介護サービスと後見人の職務	高齢者・障害者安心サポートネット 監事・介護支援専門員 進藤ひとみ
	障害者後見の実務	障害者後見研究会リーダー 高原勝利
10月31日（土） 9時30分～15時30分	医療に関する事務と後見人の職務	高齢者・障害者安心サポートネット 総務部長 樋口健児
	認知症と後見事務について	認知症のひとと家族の会 内田秀俊
	障害者支援への取り組みと後見への期待	福岡市手をつなぐ育成会 事務局長 堀浩一郎
	後見実務 (報酬付与申立手続)	高齢者・障害者安心サポートネット 業務部 原田隆行
11月7日（土） 9時30分～12時30分	後見実務 (後見事務処理日誌の作成・財産管理)	(有)エステート代表取締役 岩木大治
	後見実務 (後見事務処理日誌の作成・身上保護)	社会福祉士 久保田純枝
	地方創生 街づくり	九州大学人間環境学研究院教授 高野和良
11月14日（土） 9時30分～15時30分	介護に関するトラブル	弁護士 石井宏治
	後見実務 (収支計算書の作成)	高齢者・障害者安心サポートネット 筑紫業務主任 福村金子
	障害者後見のあれこれ	民生委員・児童委員 岡田節男
	後見人実務に関するゼミナール (1)	2班に編成して行う(総合リーダー 豊留一)
12月5日（土） 9時30分～12時30分	後見人実務に関するゼミナール (2)	2班に編成して行う(総合リーダー 森山彰)
	座談会	高齢者・障害者安心サポートネット 理事長 森山彰
	閉講式 修了証書授与	糸島市、糸島市社会福祉協議会、 高齢者・障害者安心サポートネット

②交流会・ワークショップの開催

日時：令和2年12月19日（土）

参加者：14人

場所：糸島市健康福祉センターあごら視聴覚室

内容：今後の流れについて説明を行い、日常生活自立支援事業の支援員をはじめ活動に対する希望の有無を確認し、意見交換を行った。

③市民後見推進検討委員会

日時：令和3年1月22日（金）

参加者：10人

場所：糸島市健康福祉センターあごら視聴覚室

内容：福岡家庭裁判所主任書記官の楠木氏を招き、学習会を行い、今後の市民後見推進事業や市民生活支援員などについて協議した。

1 1. その他（社会福祉法人の公益的な取組も含む）

（1）第三者委員会

- ・令和2年度 苦情解決・第三者委員会
 - 1 回 期日：令和2年7月28日（木） 場所：あごら
 - 2 回 期日：令和3年3月（書面にて開催）
- ・令和元年度 福祉サービス苦情解決従事者研修会（県社協主催）
（コロナ禍により中止）

（2）傷害・賠償報告

◆自損事故が多く、職員で修繕する。

①事業関係

1 件（サロン傷害保険）

②車両関係

1 件（車両 79 台 対物、自損、対人 参考：令和元年度 0 件）

（3）ライフレスキュー事業の実施

◆ふくおかライフレスキュー事業では、糸島市内の社会福祉法人が連携を行い、糸島地区連絡会を開催して、困窮者に対する支援をフードバンク糸島ハピネスからの食料支援も含め、相談支援を行った。

[支援件数]

相談件数	4 件
支援件数	4 件
現物給付件数	4 件

[支援内容]

- ・路上生活者の支援、現物給付
- ・コロナ禍で一時的に生活困窮に陥った方への支援、現物給付

[糸島地区連絡会の開催]

市社協は、連絡会事務局を担当し、連絡会を4回開催した。連絡会では支援した事例の検討や新規相談についての検討、参加法人の取組等を紹介してもらい、社会福祉法人間の連携に努めた。

糸島市社会福祉協議会ケアプランセンター

1 総括

令和2年度は総合職2名、一般職4名、再雇用2名、パート職員1名の9名体制であった。毎月の新規利用者の依頼は断らず、受け入れを行った。新規のケースは前原東地域包括支援センターや福岡市内の病院からの依頼が多かった。困難ケースの依頼は2名であり、基幹型地域包括支援センターや市役所介護高齢者支援課と連携・協力を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための訪問自粛や感染対策など、これまでの通常業務に無かった対応が求められた。また、各圏域の地域包括支援センターからの業務委託を受け、介護予防に関するケアマネジメントを実施した。

2 実績

(1) 要介護度別利用者数

単位：件

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	述べ
要支援1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	5	5	5	3	33
要支援2	0	0	2	4	7	8	8	8	9	10	12	12	7	80
要介護度1	90	92	96	92	91	89	91	87	85	78	79	78	87	1048
要介護度2	67	66	67	67	71	67	64	62	64	61	64	62	65	782
要介護度3	35	36	33	32	33	34	37	39	44	44	43	47	38	457
要介護度4	23	23	23	22	20	24	23	23	22	22	22	22	22	269
要介護度5	12	13	13	13	13	12	14	14	14	11	11	12	13	152
令和2年度計	228	232	236	232	237	236	239	235	241	231	236	238	2,821	
令和元年度計	239	239	237	242	237	241	238	238	242	237	238	236	2,864	

(2) 介護支援専門員一人当たり平均件数

令和2年度 26.1

令和元年度 26.5

(3) 新規利用件数(年度の新規件数)

令和2年度 81.0

令和元年度 100.0

(4) 地域別状況

介護

支援

令和3年3月末現在	前原地区	158	前原包括	0
	二丈地区	37	前原西包括	1
	志摩地区	27	前原東包括	17
	福岡市	5	二丈包括	1
	その他	2	志摩包括	1

糸島市社会福祉協議会ヘルパーステーション

1 総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら事業を行った。利用者数はやや増加したものの、サービス項目全てで時間数の減少が見られた。新型コロナウイルス感染症の影響からか、サービスを自粛される方も多く、結果として廃用症候群となり、場合によっては入院する方も多く見られたことや、サービスの依頼があってもスタッフのマンパワー不足などから、依頼をお断りしたことが原因と考えられる。

また、事業の維持、継続については、現在就業している訪問介護員の高齢化が顕著であり、後継者の育成や若手人材の確保が今後の課題である。さらには、利用者・家族の多様なニーズに対応できるよう、研修等を行いながら、訪問介護員の資質向上に努める。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
														2年度	元年度
身体介護	時間	224.5	216.5	235.3	253.5	263.0	247.3	251.0	252.2	249.0	222.5	229.6	242.0	2,886.3	3,055.2
身体生活	時間	77.6	69.3	85.0	124.3	126.0	131.0	121.2	111.5	107.0	77.8	120.3	131.3	1,282.3	1,329.6
生活援助	時間	374.8	364.2	366.1	331.9	290.5	300.5	318.2	307.2	360.6	348.5	310.1	366.8	4,039.2	4,907.5
令和2年度計		676.9	650.0	686.3	709.7	679.5	678.8	690.3	670.9	716.6	648.8	660.0	740.1	8,207.8	
令和元年度計		792.2	816.4	808.5	834.3	745.8	784.4	848.6	795.8	764.6	727.2	700.5	674.1		9,292.4

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
事業対象者	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4.0	48
要支援1	19	20	22	20	19	19	18	21	21	20	18	19	19.6	235
要支援2	21	22	23	24	25	27	27	27	27	29	30	26	25.7	308
要介護1	14	14	14	14	16	14	14	13	13	12	14	14	13.8	167
要介護2	10	11	13	13	11	12	10	11	11	13	14	11	11.7	140
要介護3	7	7	8	7	7	7	7	8	8	7	8	8	7.4	89
要介護4	3	3	4	4	3	5	6	4	4	4	4	4	4.0	49
要介護5	5	4	5	5	5	5	5	6	6	5	6	6	5.3	62
令和2年度計	83	85	94	91	90	93	91	94	94	94	97	92	91.5	1,098
令和元年度計	90	89	90	92	95	92	94	94	89	89	86	83	90.3	1,083

(3) 自主事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 数	3	3	2	3	5	4	3	3	3	4	2	3	38
時 間	9.0	7.0	6.0	11.0	10.0	11.0	8.0	7.0	9.0	13.0	5.0	9.0	105.0

糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション

1 総括

昨年度の課題であったマンパワー不足については、2名のヘルパーを増員する事ができ改善する事ができた為、前年度より総支援時間数を伸ばすことができた一方、年度後半は長期入院の利用者が多くなり、その影響で身体生活の支援時間に大幅な減少がみられており、減収傾向に転じた一因になったのではないかと考えられる。増減の波はあったものの年間通じて新規の利用者の依頼も定期的に見られ、年度末には回復に向かう事が出来た為、前年度並みの結果となった。今後積極的に利用者の確保を図り、収益の改善を目指す。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数（年）	
													2年度	元年度
身体介護 時間	100.0	102.2	106.3	119.2	126.7	120.5	121.1	112.3	120.3	123.0	111.8	134.7	1,398.1	1,152.5
身体生活 時間	101.0	100.8	106.5	110.0	101.2	105.8	63.3	57.6	67.8	73.8	83.5	91.0	1,062.3	1,051.9
生活援助 時間	293.2	299.0	336.8	337.0	309.0	322.0	356.3	339.8	379.3	316.5	307.8	343.8	3,940.5	2,728.2
令和2年度計	494.2	502.0	549.6	566.2	536.9	548.3	540.7	509.7	567.4	513.3	503.1	569.5	6,400.9	
令和元年度計	404.5	484.1	418.1	435.3	374.0	409.8	448.3	405.3	390.5	378.9	393.5	390.5		4,932.6

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
要支援1	13	13	12	12	12	15	15	13	10	8	7	7	11.4	137
要支援2	10	9	10	11	13	12	10	13	12	12	14	15	11.8	141
要介護1	7	7	7	8	9	9	9	9	11	11	8	8	8.6	103
要介護2	4	4	4	6	5	5	6	6	7	6	6	7	5.5	66
要介護3	1	2	2	3	3	4	4	2	2	1	1	1	2.2	26
要介護4	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1.9	23
要介護5	2	2	2	2	3	3	3	4	3	4	4	4	3.0	36
令和2年度計	39	39	39	44	47	50	49	48	47	44	42	44	44.3	532
令和元年度計	41	45	42	44	44	44	43	41	40	42	37	39	41.8	502

(3) 自主事業

単位：時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 数	5	5	5	6	3	5	4	5	4	4	4	4	54
時 間	30.0	14.0	16.0	33.5	11.0	17.5	14.5	18.5	15.0	14.0	16.5	28.0	228.5

糸島市社会福祉協議会志摩ヘルパーステーション

1 総括

令和2年度は、新規利用申し込みが38名、中止人数は24名であり、介護度の高い利用者の入退院や入所で入れ替わりが多かったが、利用者数は全体で1割増加した。全体時間数では年1018時間の増加となった。支援内容では身体介護が微増し、月84時間の活動増加となった。年間の支援時間数には法人内の定期巡回訪問介護との委託契約により年570時間が含まれている。法人内事業所間で深く連携し、地域の介護需要に応えられる環境を作れた事が当事業所にも良い結果になった。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
														2年度	元年度
身体介護	時間	198.0	207.0	199.0	187.5	188.5	195.5	218.0	249.5	250.5	232.0	218.0	255.0	2,598.5	2,182.0
身体生活	時間	123.5	144.5	123.0	132.0	95.0	75.5	85.0	83.0	72.0	33.0	29.5	24.0	1,020.0	1,250.5
生活援助	時間	371.5	410.0	427.0	415.5	382.0	408.0	410.5	410.5	429.0	331.0	331.5	359.5	4,686.0	4,150.0
令和2年度計		693.0	761.5	749.0	735.0	665.5	679.0	713.5	743.0	751.5	596.0	579.0	638.5	8,304.5	
令和元年度計		583.0	600.5	642.0	626.5	598.5	619.5	678.0	660.0	709.0	671.5	588.0	606.0		7,286.5

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
事業対象者	3	3	4	5	5	5	5	5	6	6	6	6	4.9	59
要支援1	12	12	13	13	12	12	14	14	13	14	14	12	12.9	155
要支援2	15	15	16	12	12	13	15	17	17	19	18	19	15.6	188
要介護1	7	10	11	12	11	12	12	10	9	9	10	9	10.2	122
要介護2	17	16	16	13	12	10	11	11	11	9	9	10	12.1	145
要介護3	2	1	1	1	2	4	5	4	4	4	5	5	3.2	38
要介護4	6	6	6	6	4	5	6	7	7	7	7	5	6.0	72
要介護5	1	3	3	3	4	3	3	2	2	2	2	4	2.7	32
令和2年度計	63	66	70	65	62	64	71	70	69	70	71	70	67.5	811
令和元年度計	52	57	56	56	57	61	62	64	67	59	59	57	58.9	707

(3) 自主事業

単位：時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 数	4	2	3	4	5	4	4	3	3	2	2	0	36
時 間	7.0	5.0	5.5	6.5	8.0	8.5	5.0	3.0	2.0	1.0	1.5	0	53

定期巡回随時対応型訪問介護看護 ヘルパーステーションそれいゆ

1 総括

新型コロナ禍での業務は、訪問毎に入念な感染予防対策が必要であり、かなりの時間を要し職員体制にも影響を及ぼした。利用者数は伸びなかったが、平均介護度は前年度2.67に対し令和2年度は2.79と若干上がっている。これまでの3箇所の訪問看護ステーションとの連携契約に加え、新たに、いと訪問看護ステーション、マイレ訪問看護ステーションとの連携契約を締結した。これにより、利用者の選択肢が増えることから、今後の利用者増に対応出来る職員体制が必要となる。今年度はパート職員1名を増員できたものの、職員の高齢化も顕著なため、継続的に人員確保を図る。

2 実績

(1) 要介護度別利用者数及び提供回数

単位：人、回

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	人数	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	37
要介護1	定期訪問	123	147	124	127	142	119	127	125	125	120	99	113	1,473
	随時訪問	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	人数	4	5	6	6	5	3	3	4	4	4	3	2	49
要介護2	定期訪問	246	347	347	352	242	187	192	255	257	262	179	155	3,021
	随時訪問	3	0	1	6	5	1	1	1	1	7	0	0	26
	人数	5	3	3	3	4	2	2	2	3	3	3	3	35
要介護3	定期訪問	371	191	234	246	261	162	168	92	184	248	171	208	2,499
	随時訪問	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3
	人数	1	1	1	1	3	4	5	7	7	4	4	5	44
要介護4	定期訪問	70	73	70	72	173	235	241	365	402	301	276	374	2,707
	随時訪問	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5
	人数	3	2	3	2	1	1	1	1	1	1	2	2	20
要介護5	定期訪問	176	172	170	174	89	84	87	86	88	88	98	149	1,461
	随時訪問	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	5	8
	人数	16	15	16	15	16	13	14	17	18	15	15	15	185
令和2年度計	定期訪問	986	930	945	971	907	805	815	923	1,056	1,019	823	999	11,161
	随時訪問	4	1	2	6	9	3	1	1	2	7	2	5	43
	人数	18	17	18	16	16	16	15	18	18	18	17	16	203
令和元年度計	定期訪問	1,025	1,102	1,092	995	1,054	979	948	1,136	1,110	1,145	1,008	1,066	12,660
	随時訪問	1	12	2	0	0	4	1	2	3	0	0	0	25

(2) 自主事業

単位：人、時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
時間	0	0	0	3	2	0	0	0	0	1	0	0	6

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンター

1 総括

緊急事態宣言の発令に伴い、新型コロナウイルス感染症の罹患を危惧され、デイサービスを一時的或いは長期欠席される方もあり、また入院や施設入所、ご逝去といったケースも重なり、利用者数や収益面等、大幅な減収となった。また、宣言解除後も新規の問い合わせは少なく、契約に至っても定期的な利用に繋がらないケースも多い状況に加え、ボランティアの方々の受け入れやカラオケ、外出行事など、活動面における制限が続いている状況で、3月に入り徐々に施設見学や体験利用、新規契約の依頼など出てきており、継続して十分な感染予防対策を講じながら、運動や入浴等安心安全なサービスの提供を行い、利用者増・収益アップに努める。また、4月からの介護報酬改定における各種加算の獲得にも努める。

2 実績

(1) 介護日数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	22	22	21	21	21	22	23	20	20	18	20	22	252

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
事業対象者	実利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	7	37
	延利用者数	13	15	16	15	12	12	15	12	12	6	11	16	21	155
要支援1	実利用者数	18	18	17	17	17	18	17	19	18	21	20	20	19	220
	延利用者数	42	40	49	67	53	68	74	65	59	57	60	64	59	698
要支援2	実利用者数	24	25	25	25	24	24	26	25	24	24	26	25	28	297
	延利用者数	165	175	183	188	176	188	200	187	163	135	175	209	170	2,144
要介護度1	実利用者数	23	22	21	21	20	20	21	24	20	18	19	20	25	249
	延利用者数	160	151	185	177	156	196	161	166	194	159	191	220	233	2,116
要介護度2	実利用者数	16	13	13	13	13	9	9	9	10	9	9	11	19	134
	延利用者数	72	80	107	97	62	69	74	72	67	49	40	45	175	834
要介護度3	実利用者数	8	8	8	8	8	9	9	8	9	9	9	8	6	101
	延利用者数	77	56	56	77	71	81	83	75	78	77	79	85	76	895
要介護度4	実利用者数	6	6	6	5	4	2	2	3	4	3	3	3	8	47
	延利用者数	45	47	46	28	28	28	47	44	50	46	51	54	59	514
要介護度5	実利用者数	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	4	3	38
	延利用者数	39	36	26	28	23	26	29	24	22	22	24	26	26	325
令和2年度計	実利用者数	101	98	96	95	92	88	90	95	91	90	92	95	115	1,123
	延利用者数	613	600	668	677	581	668	683	645	645	551	631	719	817	7,681
令和元年度計	実利用者数	119	118	120	119	122	122	122	122	111	111	106	103	115	1,395
	延利用者数	804	887	839	870	894	842	955	879	722	697	718	705	817	9,812

※1月は2日間（8日、9日）雪の為、デイ休館

3 生きデイ教室（総合事業）※毎週月曜日に開催

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
令和2年度	実利用者数	34	33	33	34	34	33	32	31	31	32	33	33	33	393
	延利用者数	49	49	100	104	96	59	96	94	73	74	90	100	83	984
令和元年度	実利用者数	41	42	43	35	34	36	35	34	36	37	35	36	37	444
	延利用者数	106	109	117	115	91	104	107	97	98	106	94	88	102	1,232

※9月は1回（7日）台風の為、デイ閉鎖

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンターそれいゆ

1 総括

本年度は、実利用者数・延べ利用者数ともに前年度を大幅に下回った。事業対象者を除き、すべての介護度で利用者が減少した。新規の利用者数は11名（要介護10名・事業対象者1名）で、中止の利用者数は29名（要介護23名・要支援6名）で、中止の理由としては、施設入所が10名と一番多く、次いで死去7名、他施設利用6名、自宅療養、長期入院の順であった。

また、職員に新型コロナウイルス感染者が出たため2日間、休業することになった。新型コロナウイルス感染者の発生に伴いPCR検査を対象者（職員・利用者）全員に実施した。全員陰性だったが、感染予防対策に万全を期すように職員間で徹底した。

生活介護（共生型）の利用者は、前日から泊まり（自主事業）を利用され、引き続き翌日に生活介護を不定期ではあるが、利用を継続する。

2 実績

（1）介護日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	30	31	30	31	31	28	31	30	28	24	29	31	354

（2）要介護度別登録者数及び利用者数（述べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
事業対象者	実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	1	1.3	15
	延利用者数	5	5	5	5	5	5	5	8	5	6	8	5	5.6	67
要支援1	実利用者数	4	4	5	5	3	3	4	5	5	4	4	4	4.2	50
	延利用者数	19	19	23	22	13	13	18	22	19	17	18	18	18.4	221
要支援2	実利用者数	13	11	10	10	11	12	12	11	11	11	9	10	10.9	131
	延利用者数	89	79	80	89	78	86	81	76	82	58	67	80	78.7	945
要介護度1	実利用者数	12	11	12	12	12	12	13	13	14	13	12	13	12.4	149
	延利用者数	171	149	180	160	156	143	165	156	154	128	152	180	157.8	1,894
要介護度2	実利用者数	12	14	16	16	13	12	12	11	10	10	6	7	11.6	139
	延利用者数	136	161	194	181	151	129	144	125	110	88	85	99	133.6	1,603
要介護度3	実利用者数	11	9	9	9	8	7	7	6	7	6	7	6	7.7	92
	延利用者数	104	104	132	125	110	100	106	97	90	72	92	103	102.9	1,235
要介護度4	実利用者数	3	3	2	2	2	3	3	3	4	3	4	5	3.1	37
	延利用者数	43	38	41	37	33	32	17	28	35	19	32	40	32.9	395
要介護度5	実利用者数	2	2	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2.3	28
	延利用者数	18	19	31	26	18	8	27	26	28	10	25	15	20.9	251
令和2年度計	実利用者数	58	55	59	58	53	52	54	53	54	51	46	48	53.4	641
	延利用者数	585	574	686	645	564	516	563	538	523	398	479	540	550.9	6,611
令和元年度計	実利用者数	76	82	78	81	81	80	81	80	76	76	71	63	77	925
	延利用者数	673	755	711	797	730	739	787	750	685	685	652	609	714	8,573

（3）泊まり（自主事業）

()内の数字は要介護3以上

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	0	0	0	1	2	1	0	2	0	0	0	1	7
実利用者数	0	0	0	1(0)	1(0)	1(0)	0	1(0)	0	0	0	1(0)	5(0)
延利用者数	0	0	0	1(0)	2(0)	1(0)	0	2(0)	0	0	0	1(0)	7(0)

（4）生活介護（共生型）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	3
延利用者数	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	3

糸島市社会福祉協議会 デイサービス「福寿苑」

1 総括

令和2年度は、登録者が前年度より2名減少し、延べ利用人数も295人となった。減少の理由としては、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の影響が大きく、利用の自粛や利用回数を減らす利用者が多かった。また、昨年頻繁に発生した豪雨や台風では、事業所周辺が土砂災害警戒区域になっていることから臨時休業を余儀なくされたことも減少に至った要因と思われる。

このようなことから令和3年度は、コロナ禍においても利用者が安心して来所できるよう更なる感染予防の徹底を図るとともに、介護報酬改定による新たな体制加算の取得や現行のサービスを見直し、他事業所との差別化を図ることで、「選ばれる事業所」づくりを実践し、経営の改善に努める。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	28	27	27	28	27	28	28	25	26	22	24	28	318

(2) 要介護別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														延べ	月平均
事業対象者	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
要支援1	実利用者数	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	29	2
	延べ利用者数	14	13	7	9	9	7	9	8	8	7	10	14	115	10
要支援2	実利用者数	1	1	1	2	1	1	3	3	2	2	2	2	21	2
	延べ利用者数	1	1	3	3	5	2	13	17	17	14	16	14	106	9
要介護度1	実利用者数	6	6	7	6	6	7	7	7	9	7	7	7	82	7
	延べ利用者数	64	76	79	70	64	61	81	72	88	77	86	100	918	77
要介護度2	実利用者数	4	4	4	4	3	3	3	2	3	4	4	5	43	4
	延べ利用者数	50	45	53	52	36	31	39	25	26	33	35	48	473	39
要介護度3	実利用者数	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	16	1
	延べ利用者数	29	19	25	25	25	25	23	29	22	16	16	11	265	22
要介護度4	実利用者数	2	2	2	2	2	2	1	2	1	1	1	1	19	2
	延べ利用者数	22	26	35	35	36	24	15	19	13	10	12	14	261	22
要介護度5	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	5	0
	延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	19	20	46	4
令和2年度計	実利用者数	19	17	17	17	15	16	17	17	20	19	20	21	215	18
	延べ利用者数	180	180	202	194	175	150	180	170	182	164	194	221	2,192	183
令和元年度計	実利用者数	18	20	20	19	21	22	21	20	19	20	19	20	239	20
	延べ利用者数	195	208	202	222	219	228	220	197	188	198	206	204	2,487	207

糸島市社会福祉協議会ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、外出の自粛をされる利用者も多く、移動支援が減少した。反対に身体介護の利用者数は年々増加してきている。サービス増加に伴い訪問介護員の確保が課題になっている。障害居宅介護では様々な疾患や難病の方も多く、より安心・安全に支援を提供できるように努める必要がある。また、多様なニーズに対応できるよう、喀痰等吸引の有資格者を12名に増やし、事業所の運営強化を図る。

2 実績

（1）サービス内容別利用者数及び提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数
身体介護 時間	81.6	106.8	113.8	118.4	117.7	115.5	106.1	103.4	118.6	111.1	110.7	116.3	1,319.9
生活援助 時間	251.4	223.3	241.1	255.3	241.5	224.2	248.4	239.4	236.1	198.2	185.3	214.2	2,758.3
移動支援 時間	0.0	2.0	15.3	19.0	13.3	15.0	14.0	16.0	9.3	2.3	4.0	14.3	124.5
行動援護 時間	1.3	5.0	4.3	7.1	5.2	8.0	1.3	1.3	1.3	2.0	4.0	3.0	43.8
同行援護 時間	61.6	47.2	61.4	61.2	46.3	38.2	55.0	40.3	49.0	33.3	42.3	42.0	577.7
重度訪問 時間	120.5	84.5	80.4	79.2	82.5	63.3	71.1	47.2	86.0	70.3	65.5	71.5	921.8
令和2年度計	516	468.7	516.3	540.1	506.5	464.2	495.9	447.6	500.3	417.2	411.8	461.2	5,746.0
令和元年度計	599	637.2	628.3	596.0	584.6	569.1	604.9	592.4	599.9	597.7	549.5	550.4	7,108.6

（2）障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
障害程度区分2	10	9	8	8	8	8	8	8	7	6	4	5	7.4	89
障害程度区分3	8	6	7	8	8	7	7	7	7	7	7	8	7.3	87
障害程度区分4	2	2	3	3	3	2	2	3	2	2	2	2	2.3	28
障害程度区分5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	48
障害程度区分6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0	24
令和2年度計	26	23	24	25	25	23	23	24	22	21	19	21	23.0	276
令和元年度計	23	24	24	24	24	25	23	24	24	25	25	25	24.2	290

糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和2年度は課題であったマンパワー不足について、2名のヘルパーを増員する事ができた。利用者数は前年度と大きな変化は見られないものの、昨年度に多く利用された同行援護の利用者の転居に伴い、大きく時間数が減となった。今後、支援の資格をもつヘルパーが2名減っているため拡充は難しい状況である。今後同行援護の依頼を受けていくにあたっては計画的に資格取得を進めていく必要があり、柔軟な対応が求められる障がい者支援だが、引き続き職員研修等を行い、安定的な支援の提供に努める。

2 実績

（1）サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数 (年)
身体介護	時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0
生活援助	時間	35.0	34.0	35.0	36.5	26.5	30.0	31.0	29.0	28.5	26.0	27.0	24.0	362.5
同行援護	時間	4.0	3.0	5.0	1.0	3.5	7.5	5.0	4.0	4.5	2.0	4.0	5.0	48.5
令和2年度計		39.0	37.0	40.0	37.5	30.0	37.5	41.0	36.0	33.0	28.0	31.0	29.0	419.0
令和元年度計		56.0	52.5	65.0	63.5	61.3	56.6	59.0	50.0	52.5	53.0	52.5	42.0	663.9

（2）障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
障害程度区分2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	2	2.6	31
障害程度区分3	4	4	4	4	3	3	3	3	2	2	2	3	3.1	37
障害程度区分4	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1.3	16
障害程度区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
障害程度区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
不明・区分なし その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
令和2年度計	7	7	8	8	8	7	7	7	6	6	6	7	7.0	84
令和元年度計	7	8	8	8	7	8	9	7	9	9	8	7	7.9	95

糸島市社会福祉協議会志摩ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和2年度は、利用者数が増加した。支援内容としては身体介護は倍増したが、生活援助は微増という結果になった。また、支援区分では中度から中重度の方の増加が見られた。障害種別においては、身体障がいの方は少なく、精神疾患のある方が7割で、生活上での軽微な困りごとから、医療機関や他サービス事業所との連携が頻繁に必要な方もあり、対応には細心の注意を必要とするケースが多かった。障がいの理解と状況判断を的確にできるように取組む。

2 実績

（1）サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数（年）
身体介護 時間	19.0	22.0	16.5	14.0	17.0	14.5	23.0	17.5	19.5	22.0	16.0	19.5	220.5
生活援助 時間	141.5	142.5	152.5	148.5	132.5	135.0	135.5	131.0	124.5	104.0	128.5	140.5	1,616.5
同行援護 時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和2年度計	160.5	164.5	169.0	162.5	149.5	149.5	158.5	148.5	144.0	126.0	144.5	160.0	1,837.0
令和元年度計	97.0	108.5	129.5	140.0	144.0	152.0	163.0	157.5	167.0	149.5	141.0	152.5	1,701.5

（2）障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
障害程度区分2	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3.2	38
障害程度区分3	6	7	6	7	7	7	6	6	7	6	6	7	6.6	79
障害程度区分4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	36
障害程度区分5	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2.2	27
障害程度区分6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
令和2年度計	16	16	15	17	16	16	15	16	17	16	17	16	16.0	192
令和元年度計	11	12	12	12	13	14	15	14	14	14	14	16	13.4	161

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンター（基準該当生活介護）

1 総括

令和2年度の新規利用者、登録者数は増減はなく推移しているが、県の緊急事態宣言の発令に伴い、新型コロナウイルスへの感染を危惧され、デイサービスを一時的、或いは長期欠席される方がおられ、利用者数減の状況が続いている。また緊急事態宣言解除後も、2名の利用者は再開の予定は立っていない状態である。

利用者の状況では、登録者数は12名、年齢層は30歳～60歳代となっているが、施設見学や新規利用の問い合わせも出ているため、今後も障害相談相談支援センターの担当者と連携を図り、新規利用者の獲得、利用者数・収益増に努める。

2 実績

（1）障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
障害程度区分1	実利用者数														
	延利用者数														
障害程度区分2	実利用者数														
	延利用者数														
障害程度区分3	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	延利用者数	7	3	12	13	8	11	13	10	10	10	11	11	10	119
障害程度区分4	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	延利用者数	24	25	26	26	15	16	28	23	24	20	22	26	23	275
障害程度区分5	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	延利用者数	29	32	40	37	27	33	46	38	28	26	26	28	33	390
障害程度区分6	実利用者数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	延利用者数	22	18	28	29	28	29	19	16	27	23	25	31	25	295
令和2年度計	実利用者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
	延利用者数	82	78	106	105	78	89	106	87	89	79	84	96	90	1,079
令和元年度計	実利用者数	14	15	15	14	14	14	13	13	13	13	13	11	14	162
	延利用者数	138	149	136	121	144	133	141	137	119	120	125	111	131	1,574

（2）利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分/月	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害	0	0	3	3	2	3	11
知的障害	0	0	0	0	0	0	0
精神障害	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	3	3	2	3	11

（3）地域状況

単位：人

	前原地区	二丈地区	志摩地区	計
利用者数	11	0	0	11

障がい者生活介護事業所ひまわり

1 総括

令和2年度は7月と2月に各1名ずつ、新規利用者の受け入れを行った。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、特別支援学校からの実習生はいなかったが、今後も実習生の受け入れを積極的に行い、新規利用へ繋げていきたい。

また、新型コロナウイルス感染症の影響での閉所はなく通常営業行うことができたが、9月7日の台風や、1月8日～9日の大雪の影響では閉所することになった。延べ実利用者数は1,978人と昨年度の1,483人と比較すると大幅に増加した。

昨年度予定していた外部講師による音楽療法も7月より月2回実施でき、利用者の笑顔も見られ好評であるため、今後も日中活動の一部として継続する。

2 実績

(1) 障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
障害程度区分1	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分2	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分3	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12	2	18
障害程度区分4	実利用者数	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	4	44
	延利用者数	25	27	28	27	26	27	28	25	18	16	17	18	24	282
障害程度区分5	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	延利用者数	30	34	28	24	23	23	23	23	21	19	23	24	25	295
障害程度区分6	実利用者数	11	8	9	13	12	12	12	11	11	10	11	12	11	132
	延利用者数	114	117	95	130	125	108	127	117	124	95	107	124	115	1,383
令和2年度計	実利用者数	17	14	15	19	18	18	18	17	16	15	17	18	17	202
	延利用者数	169	178	151	181	174	158	178	165	163	130	153	178	165	1,978
令和元年度計	実利用者数	10	10	13	14	14	14	16	16	17	16	17	18	15	175
	延利用者数	89	91	91	113	114	109	135	126	148	140	147	180	124	1,483

(2) 利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分/月	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害	0	7	3	1	1	1	13
知的障害	0	5	1	0	0	1	7
精神障害	0	0	0	0	1	0	1
計	0	12	4	1	2	2	21

(3) 地域状況

(単位：人)

	前原地区	二丈地区	志摩地区	福岡市西区	計
利用者数	10	1	9	1	21

障がい児放課後等デイサービスあごらクラブ

[illegible]

令和2年度は、平成元年度より延べ利用人数が316人増加となった。利用者数増加の要因は、登録児が増加した事、また、小学部の新規児童数が増えたため安定した利用者数の獲得に繋がったと考える。新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の影響により月単位で利用者数減になることがあったが新型コロナウイルス陽性者が発生することなく運営することができた。

令和3年度の報酬改定では、人員配置基準の厳格化、障がいの重症度に応じた加算が増えており、引き続き登録児童数の維持と有資格者の人材確保または、育成が必要になってきている。今後も利用児の個別性に合わせた満足度の高い支援を提供できるよう事業所運営に努めていく。

[illegible]

(1) 開所日数													単位：人	
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	--

单位：人

単位名／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
そら（1階）	17	15	26	25	23	23	27	23	25	21	22	26	273
にじ（2階）	16	15	26	25	24	23	27	23	25	21	22	26	273

(2) 登録用数及び延べ利用用数

单位：人

項目／月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
登録児数	そら	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17.0	
	にじ	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	21	20.1	
延利用児数	そら	153	134	203	208	182	202	221	196	208	176	188	215	190.5	2,286
	にじ	102	135	229	217	198	205	229	196	208	180	199	221	193.3	2,319
	合計	255	269	432	425	380	407	450	392	416	356	387	436	383.8	4,605

参考：令和元年度は延べ4,289人

[illegible][illegible]